京城日報

THE KEIJO NIPPO

大正五年九月二十日　第三千二百四十四號(一)

(明治卅九年九月十日第三種郵便物認可)

十九日夕刊

○希臘新内閣成立

雅典來電―希臘新内閣成立せり其顔觸左の如し(紐育電報)

▲首相兼陸軍財政 カロゲロパウロス ▲海軍 ダミアノス ▲内相 ロンフオス ▲外相 カラパノス ▲司法 ボコトパウロ ▲文部 カノリス ▲交通 カフタシゴグロウ ▲經濟 パッシオス

○希臘新内閣は中立

十九日國民大會開かる

新首相カロゲロパウロス氏は曰く余は聯合國側に對し最も嚴正なる中立を維持せんとす余は獨逸を賞讃すと雖も獨逸贔負にあらずと十九日朝開く可き國民大會は極めて重要なるものにして聯合國贔負の中心たるべきものなり此の席にて公民的利益に一致する政策を執るべき事を國王に請願する決議を爲すべしと(紐育電報)

○羅馬尼方面の戰況

羅馬尼軍總司令部附ダイムス特派員十七日附の所報に曰くドブルヂア戰線に於ける露羅聯合軍は退却中なり又ツルナヴォダの南十哩なるラソヴアよりコンスタンツアの南十二哩なるツズラに至る線にて要害の陣地を占領せり又トランシルヴアニアに於ける味方の進軍は首尾克く進行しつゝあり(紐育電報)

○唐氏天津到著

外交總長就任の爲上海より北上せる唐紹儀は十七日天津に著せり官民の歡迎頗る盛大にしてアイタノ、ハウスに投宿せり(北京電報)

●朝鮮貿易

九月上半に於ける

▲上半出入高　九月上半の朝鮮貿易は輸移出品價二百三十三萬九千二百九十餘圓、輸移入品價三百十八萬六千百五十六圓合計五百五十二萬五千四百五十餘圓にして之を前年同期に比すに輸移出八十九萬六千餘圓輸移入二十二萬餘圓の增加を算し合計に於て百十一萬六千餘圓の激增を見たり

▲貿易高累計　而して一月以降の累計は輸移出品價三千三百四十二萬三千餘圓、輸移入品價四千六百八十萬二千餘圓合計八千二十二萬五千餘圓を算し之れを前年同期に比すれば輸移出に於て三百二十八萬九千餘圓輸移入に於て八百七十三萬三千餘圓の激增を示し又た當期間の入超額は一千三百三十七萬九千餘圓に達せり

▲出入重要品　今九月上半並に一月以降累計に依る輸移出入重要品價を擧ぐれば左の如し

輸移出重要品(圓)

品名	九月上半	一月以降累計
米	三三九,三〇一	一〇,五二四,六一二
豆類	五二,九一四	二,五六四,四一七
鮮魚	三三,三二一	一一六,七七〇
乾鹽魚	三二,八三九	六〇九,七一七
人蔘	八九一,四七一	一,二六九,三七三
棉花	―	一,〇九二,五七三
金鑛及沙鑛	三七,二九六	八六〇,五八〇
鐵鑛	二七,九八八	三六七,六六〇
黑鉛	二一,六八〇	三七二,五九二
石炭	三二,〇五七	二九七,四三三
牛皮	一八五,一五八	二,二六二,六五二
生牛	二八,七三〇	二五八,二三八
肥料	六,二八三	六四九,二六七

輸移入重要品(圓)

品名	九月上半	一月以降累計
米	二,五八九	一八五,二六三
粟	一,一七一	七四,三九八
小麥粉	五八,六六八	六一三,一七一
食鹽	六三,三七一	七一六,〇七七
鹽魚	四,四四三	二三三,四七六
砂糖類	七〇,二五三	一,三三一,八七〇
清酒	二五,五五〇	四五六,五三六
麥酒	七,八一二	四一六,九八〇
石油	一一,〇五一	七九〇,六三九
綿織類	六〇,六九二	二九六,九〇九
綿絲	一四五,四七五	二,〇八四,五五六
生金巾類	三一一,七七七	三,七九一,七一九
晒金巾類	二一六,二八七	一,九五九,〇三九
天竺布	五〇,六〇二	三九八,三〇四
綿繻子類	六五,二九九	三七〇,六三八
日本木綿	一四六,三五一	一,六八四,八七九
支那麻布	三,二三一	一,六一一,六九二
毛織物	三六,六七八	三七〇,二二九
絹織物	八〇,九五八	八三二,六七九
紙	一〇一,二七四	一,二七六,〇五二
錻鐵	四一,〇五九	六三九,一三八
鐵筒及管	一〇,九三〇	一三五,四六九
軌條附屬品	九四一	四六五,八九四
鐵道機關車	八四〇	一七,四九四
煙草	三一,〇二七	三三一,四九九
石炭	七二,九三一	一,二二六,〇二〇
木材及板	七〇,七三三	九三一,七八九
叺繩及莚	三九,九〇四	四五六,九一九
セメント類	四四,三六六	五四四,八六二
マッチ	三五,六一七	五一六,一〇〇

▲出入金銀高　尚ほ當期中の出入金銀高は輸移出に於ては金貨及び金地金百十九萬百二十七圓銀貨及銀地金九千六百六十四圓合計百十九萬九千七百九十一圓を算し輸移入に在りては金貨及金地金十一萬六千七百五十六圓銀貨及び銀地金三千百六十八圓合計十一萬九千九百二十四圓にして之れが出入の權衡は百七萬九千九百餘圓の出超を示せり而して一月以降の累計は金貨及び地金金銀貨及び銀地金を合し輸移出高一千百十五萬九千六百餘圓輸移入高百二十二萬七千百餘圓にして實に一千七十三萬二千餘圓の出超を算せり

●府郡恩賜金

四年度の使途と施設

府郡臨時恩賜金は道長官之を管理するものにして其の元本金一千七百三十九萬一千圓は之を基金とし其の利子年額八十六萬九千九百圓の中十分の六を授産費に十分の三を教育費に殘餘十分の一を凶歉救濟費に充て事業は朝鮮總督の認可を經たる豫算及び經理方法に基き經營す今大正四年度に於ける各種事業の梗概を敍述すれば左の如し

▲授産事業　本事業は兩班儒生其他恒産なき士民に生業を授くるを本旨とし傍ら地方産業の改良を企圖するものにして施行の主なるものは蠶業、農業、機業、製紙、製炭、漁撈、水産製造等に關する傳習産業技術員の配置農業林業畜産水産及び各種工業に關する種苗器具又は材料の配付等なり、其の內傳習事業は長短二種あり大正四年度に於ける長期傳習は各種類を通じ百三十六箇所傳習生徒數二千二百七十九人にして事業開始以來の通計一萬二千二百六十八人に達す、短期傳習は隨時各部に於て之を行ひ其の傳習を受くる者每年數千人に及ぶ而して是等の傳習修了者は地方の先驅者として其の所習を實地に應用し範を示し種苗配付其の他勸業施設と相俟って産業を改良し又は新に各種の物産を興し特に多年遊食を事としたる兩班儒生等にして農事其の他の生業を營み從來內房に蟄居せし婦女子にして養蠶製絲機業等の傳習を受け其の業に從ふ風を生ずるに至れり

▲教育事業　教育事業は主として公立普通學校の經費を補助し又た地方に依り私立學校にも補助す、事業開始以來補助に基き設立せられたる公立普通學校は總數二百九十九校にして四年度に於て補助を受けたるものは公立普通學校三百九十八校、私立學校六校、幼稚園一個所なり

▲救濟事業　凶歉救濟事業は水害旱害又は霜害等の災に罹りたる者に對し種穀又は食糧供與等の方法に依り救濟を行ふものなるも四年度は平安南北兩道に於て水害又は霜害に對し之れを實施せしに過ぎざりき

●本年の陸地棉

各道の生育狀況

本年の陸地棉作付反別は鮮內を通じ四萬八千四百十二町二畝歩にして此の栽培人員三十七萬四千四百七十六人を示し之れを前年度に比すれば作付反別に於て一萬八千八十八町歩餘栽培人員に於て十一萬一千三百二十七名の何れも增加を示せり今之れを道別に見るに左の如し

道名	作付反別	栽培人員
全羅南道	三三,二八二,七〇町	一九七,七二〇人
全羅北道	三,八六九,九九	五四,四二九
慶尙北道	六,六四一,一九	六八,九三二
慶尙南道	三,二〇九,〇五	四二,二〇一
忠淸南道	四三〇,〇九	四,五二五
忠淸北道	九六九,〇〇	六,六六七
計	四八,四一二,〇二	三七四,四七六

而して發芽後に於ける生育狀況を聞くに作付反別の最も多數を占むる慶尙南道に在りては降雨多量なりし結果生育を阻害されたる個所ありしも其の成績は概して良好たるを失はざるも之れに次ぐ全羅北道は生育比較的良好ならず全羅南道亦降雨の多量なりし爲め生育の遲延を免れざりしが慶尙北道は病蟲害を受けたる個所あり忠淸南北兩道亦水害を受けし所尠からざりしに拘らず其の後の生育順調なりといへば要するに本年の生育狀況は先づ良好と見て誤謬なかる可く從って其の收穫量は前年に比し栽培反別の增加數のみを以てするも遙かに多量なるは疑を容れず今後の天候順調ならむには豫定の數量を增加すること敢て難事にあらざる可し

價紙 一部金三錢 一ケ月金六拾五錢 三ケ月金壹圓九拾錢 六ケ月金三圓七拾錢 郵稅代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄一行金壹圓 ▲二號活字は五號活字の三倍

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話(編輯用)三四五番 一二三番 (營業用)一六六番

●北支航路變更

發着順を逆とす

朝鮮郵船會社の仁川北支那航路は其の航路順仁川より靑島大連を經て芝罘に至り仁川に歸航する事となり居るも追々浦鹽方面に出稼ぎ居る苦力の歸國期に際し右の順にては會社及び乘客共不利不便の點多きを以て會社は當分の間來る二十五日の仁川出帆より寄港を逆に轉ずる事としたるが其の順路は仁川芝罘大連靑島仁川となり結局仁川にて乘込める苦力を其の歸國地たる芝罘に最も早く上陸せしむる事としたり

●長崎線尚缺航

朝鮮郵船の浦鹽長崎航路は八月以來長崎虎疫猖獗の爲め特に門司寄港となし居れるが目下長崎の狀況尚ほ險惡疫の流行終熄せざるを以て當分の間長崎缺航を繼續すべく其の復舊期は未定なりと

●船舶檢疫施行

虎列拉豫防の爲傳染病豫防令第十四條に依り釜山港及び仁川港を發し又は同地を經由し來れる船舶に對し十九日より檢疫を開始するの件は十九日の官報に依り告示第二百二十七號を以て公布せられたり其檢疫施行場所左の如し

檢疫施行場所

▲京畿道(八個所) 仁川府仁川港、富川郡靈興島、同郡大阜面下洞大阜島、同郡永宗面永宗島總湖里、江華郡府內面甲串里甲串、同郡同面同里月串、同郡花蓋面邑里、振威郡內南面通伏里

▲忠淸南道(五個所) 牙山郡敦井面君德興(仙掌)、唐津郡松嶽面漢津里、瑞山郡八峰面虎里(舊島)、保寧郡熊川面熊川港、舒川郡西面都屯里

▲全羅北道(一個所) 群山府群山港

▲全羅南道(六個所) 木浦府木浦港、莞島郡郡內面莞島、高興郡蓬萊面羅老島、麗水郡麗水面麗水港、濟州島旌義面城山浦、同島濟州面濟州

▲慶尙北道(五個所) 迎日郡滄州面九龍浦港、同郡浦項面浦項港、盈德郡烏保面江口港、盈德郡丑山面丑山港、鬱陵島南面道洞港

▲慶尙南道(十一個所) 釜山府釜山港、昌原郡鎭海港、泗川郡邑南面船津港、河東郡金陽面蟾津、馬山府馬山港、統營郡統營面統營港、同郡二運面長承浦、巨濟島(巨濟島)四川郡文善面三千浦港、同郡同面蟾梁、蔚山郡東面方魚津、同郡大峴面長生浦

▲黃海道(二個所) 海州郡海州面龍塘浦、安岳郡大杏面北倉浦

▲平安南道(一個所) 鎭南浦府鎭南浦

▲平安北道(二個所) 新義州府新義州、龍川郡府內面龍岩浦

▲江原道(七個所) 蔚珍郡平海面直山里、三陟郡府內面汀羅里、江陵郡新里面注文津、襄陽郡降峴面物淄里、杆城郡縣內面巨津里、通川郡臨南面長箭里、元山府元山港

▲咸鏡南道(三個所) 元山府元山港、咸興郡西湖面西湖津、北靑郡新昌面新浦港

▲咸鏡北道(三個所) 城津郡城津港、淸津府淸津港、慶興郡雄基港

●汽車檢疫施行

虎列拉豫防の爲傳染病豫防令第十四條に依り釜山、仁川地方を發したる汽車に對し十九日より檢疫所に於て檢疫を施行するの件は告示第二百二十六號に依り十九日の官報を以て公布せられたり其の檢疫所左の如し

檢疫施行場所

▲京釜線(十六個所) 釜山驛、三浪津驛、淸道驛、大邱驛、金泉驛、秋風嶺驛、永同驛、沃川驛、大田驛、鳥致院驛、成歡驛、平澤驛、水原驛、永登浦驛、龍山驛、南大門驛

▲京義線(五個所) 開城驛、新幕驛、平壤驛、定州驛、新義州驛

▲湖南線(十一個所) 江景驛、裡里驛、井邑驛、長城驛、松汀里驛、羅州驛、榮山浦驛、鶴橋驛、木浦驛、群山驛、輕鐵全州驛

▲馬山線(一個所) 馬山驛

▲京仁線(二個所) 杻峴驛、仁川驛

▲京元線(四個所) 議政府驛、鐵原驛、福溪驛、元山驛

▲鎭南浦線(一個所) 鎭南浦驛

●防疫事務打合會

虎疫流行のため京畿道警務部にては防疫委員會を開き萬一京城に侵染し來る場合の防疫準備方法に就て打合す所ありたるが更に警務部、各警察署、府當局者と協力して今後時々會合して防疫に關する打合をなすこととなりたり

●定例長官會議

十九日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に開會通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

●淘汰と土調局員

土地調査局の測地作業終了に伴ひ其の從事職員に多數の剩餘を生じ自然解雇の止むを得ざる事は既報の如きも唯測地從事職員中其の勤務誠實にして成績優良なるものは自然他官廳其他の希望により其々轉勤就職する事となるべく又事業終了に際しては調査局在職中の勤務成績に應じ相當の事業終了賞與金を給與せらるゝ事も內定し居る由なるを以て此の際淘汰整理せらるゝ者は先づ成績劣等の職員とも見得べく從事員は一般に比較的樂觀しつゝあるもの多きが如し

●王妃誕辰祝賀

十九日は李王妃殿下の御誕辰日なるより朝鮮貴族一同は同日午後零時三十分昌德宮に伺候祝賀の意を致せり

●昌德宮午餐會

李王殿下は二十一日午後零時三十分より新任軍司令官秋山中將を昌德宮內仁政殿に招待午餐の饗應ある筈なるが總督府よりは山縣政務總監小松翰長、高橋武官遠藤秘書官藤波通譯官等列席すべし

●石塚長官出發

農商工部長官石塚英藏氏は小池商工課長を從へ既記の如く十九日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の途に就けり同驛には官民有志數十名の見送りありたり

●松永長官出張

十九日平澤に於て開催の水原、龍仁、振威、安城四郡の郡參事諮問會議に出席の爲め松永京畿道長官は時永事務官及び書記二名を隨へ十九日朝九時半南大門驛發列車にて出張本日午後歸任の筈なり

●市川少將入京

平壤步兵第三十九旅團長陸軍少將市川堅太郎氏は十九日朝龍山著平壤より入京

●金久保少將上京

來田中の第四十旅團長金久保少將は十九日午前十一時湖南線より歸來直に十二時二十八分發急行列車に乘替上京す

●聯隊集合演習

大田第七十九聯隊第一大隊にては十九日より行動を開始し公州第一中隊に向ひ二十日水原第二中隊と合し二十一日來田し大田座に全部宿泊の筈なり

●鑛山局技師通過

農商務省鑛山局技師岡村要藏、山根新次氏は技手堀內米男、飯塚寅爾兩氏を隨へ十九日朝南大門通過奉天へ向へり

●全州輕鐵開通

水害の爲め不通となり居たる全州輕鐵は以外に工事捗り十九日より開通せり

●視察團日程

京滯在中の宇都宮商業會議所主催の鮮滿視察團一行は十九日朝南大門驛著入京旅宿に少憩の上午前九時總督府を訪問山縣政務總監に敬意を表し十一時京城ホテルに於て商工業に關する當局者の講話を聞きたる後政務總監より景福宮內總督府博物館其の他主要建物を見物し又た李王職美術品製作所を訪へり、二十日は午前九時より商品陳列所中央試驗所等を視察し午後一時三十分昌德宮に赴き博物館秘苑を拜觀後茶菓の饗應を受く可く二十一日は仁川を視察し二十二日は各自自由行動を執り同日午後九時四十分南大門驛發汽車にて北行の筈なり

●宇都宮觀光團招宴

京城在住の栃木縣人會は二十日午後六時より朝鮮ホテルに於て晩餐會を開き目下入京中なる宇都宮觀光團二十七名を招待する由なるが當夜は京城商業會議所議員も參加すべしと

●李王職茶菓饗應

宇都宮視察團一行は二十日昌德宮訪問秘苑博物館等を拜觀の筈に就き李王職にては午後一時三十分一同に對し茶菓の饗應を爲す由

●熊本觀察團

十九日夜入京の筈なりし熊本縣鮮滿教育視察團三十七名の一行は釜山に於て檢疫を受くる事となりし爲め一日延引し多分二十日夜來京すべしと

●大邱乾果製造試賣

大邱地方は果樹地として有名なるは一般の周知する所なるも從來加工果物生産に不注意なりし爲め屑果物の如きは殆んど破格の價格に處置されつゝあるを遺憾とし慶北種苗場にては屑物利用の目的にて苹果を細斷乾燥し乾果を製造しつゝありしに成績頗る良好なるを以て本年は是を試賣に附すべき方針なりと

●鹿兒島學事視察團

鹿兒島縣教育會主催の滿鮮教育視察團一行二十三名は來る三十日午前中來仁各所視察の筈也(仁川)

●長春より

▲蒙軍の歸程如何　蒙古軍は久しく指定區域外に躊躇し居たるが遂に意を決し去る十四日の爽昧郭家屯の方面に當りたる若干南方郭家屯附近を突破して蒙古地帶に行軍せし由なるが其後の行程平穩なりや否や其情報に接せず

▲臨時救護班閉鎖　甞に支那軍交戰に際し郭家店に於て救護に從事せし日本赤十字社臨時救護班は蒙軍撤兵と同時に平時救護班と改め重傷患者卅名計を收容しありしが今回之を閉鎖し內七名の重患者を旅順關東病院に收容し輕傷者は本隊と共に歸蒙の途に就かしむべしと

▲東蒙王會議開催　一二年來休會せる東蒙王會議は今回東蒙宣撫便の來滿を機會として更に本月末開催すべく例の無意義なる長夜の宴を張りて蒙王を懷柔する等の外無かる可く外に名案あるを聞かずと

▲區長改選期　長春附屬地區長は九月末を以て任期滿了に付來る九月二十八九日頃滿鐵俱樂部に於て新區長の選擧を施行する由

▲秋季淸潔法　長春警務署は告示を出して本年度秋季淸潔檢查を附屬地全部を十日間に施行すべし又附屬地以外は領事館警察署に於て二日間に施行すべし

大邱

▲明治神宮獻金額　最近大邱府斡旋にかゝる明治神宮獻金小計四十五圓三十錢累計一千三百廿七圓六十錢となる ▲鈴木道長官出張　鈴木慶北道長官は高田官房主任を從ひ三日間の豫定にて十九日より善山地方へ出張 ▲大邱管內最近戶口　大邱警察署管內戶口は急激增加の趨勢にて八月末調査にかゝる戶數二千八百十一人口一萬六百三十四(達城郡の一部を含む)にして大邱府のみにても戶數二千四百九十人口九千二百九十六なりと ▲浮石寺工事落札　有名なる慶北榮州郡浮石寺の修繕工事は十八日道廳にて入札の結果大邱桑野金太郎氏に落札せり

釜山

▲神仙臺檢疫所視察　總督府警務總監部衞生課警部北村晴造及び同技師原親雄の兩氏は十八日午前來釜直に神仙臺の檢疫所を視察の上同午後十一時發にて歸任 ▲支店長披露會　朝鮮興業會社釜山支店長前任堀家虎造氏は今回東京本店へ其後任として長瀨武司氏は最早著任したるが十五日頃より事務の引繼を了したるを以て廿二日午後六時より南濱町芳千閣に於て兩氏更迭披露の爲め釜山港官民の主なるものを招待する由

光州

▲野田阿部兩氏來光―野田東拓副總裁阿部京日社長の兩氏は十六日午後八時入光萬屋に入りたるが出迎官民多數あり兩氏とも深更迄揮毫し翌午前八時木長官を官邸に訪ひ正午柏林亭に官民聯合の歡迎會に臨み大塊翁は例の如く筆を呵して卽吟數十を揮毫し午後四時頃市中を視察して六時半發の自動車にて松汀里へ向ひ副總裁は榮山浦にて下車し阿部社長は木浦に向ひ翌々日羅州にて再會の上歸京の筈にて谷川光日社長は松汀里迄送迎せり ▲警務部長出發　浦野警務部長は十八日高橋警部以下の隨員を從へ濟州木浦兩署巡閱の爲め出發せり ▲宮木長官出張　宮木長官は道內巡視の爲め廿五日頃濟州其他五六郡へ出張の筈

人事消息

▲市川第三十九旅團長　十九日朝入京巴城館へ

▲加藤定吉氏(代議士)　同上

▲藤原俊雄氏(建築材料商)　十九日朝入京天眞樓へ

▲金子圭介氏(皮革會社長)　十八日朝釜山上陸北行

▲中村城太郎氏(工兵中佐)　十八日午前十時半釜山發列車にて北行

▲王九周太郎氏(釜山駐箚中隊長步兵大尉)　歸省中の處十八日午前歸任

▲樽尾旭邦氏(朝鮮新聞社長)　北京へ向け出發せし處家族に病者出來たる爲め滿洲の觀察に止め十九日朝歸京

▲郡山智氏(會計課長)　十九日朝慶南道管內へ出張

▲村田素一郞氏(鐵務課長)　十九日夜忠淸道より歸任

▲宇都宮寬氏(山林課技師)　二十日平北黃海兩道へ出張

▲大島浦一氏(土木技師)　二十三日より海州及び黃州兩郡へ出張

光州より　大塊

一望千里色は黃金の稻の波

河鹿鳴く溪水の音五戶の村

高麗の市人は鳥羽繪の神の如

黃州より　坡鄕生

暗い町の狹い門樓への中の、ダリヤカンナと淋い山吹かせて、不孫きのオンドル宿、女中は無しの娘一人、オッサンは洗足でセッセと箒に水をやつてゐる、そして秋の旅の虫の聲(十六日夜)

灯けて去ぬ長夜のランプ搖れ

宿の隣の支那人が、臨馬な飼ふて居て夜もすがらまふれな鳴らす、轡の金輪を振ろ、アヤーと長い息をする、蹈だパタ／＼と振る、蹄を蹴る。馬の尿する枕元な、大正の今日朝鮮で味ふなんざ芭蕉さんでも氣が付くまい。起きて甜閣の向きながへろ、蚤み搔き立てゝ新聞をこそつかす、犬が吠える、狂って吠ねろ、近くで叫ぶ、馬賊でも押し寄せて來そうな犬の騷ぎもすんで、聽馬の木を蹴る音、內心も勞れ果てゝいつとは無しに夢に入る。今朝は起きともない爾々の

白コスモスの小雨にまた眼を閉る(十八日朝)

國旗の街、電燭の街
閑院宮殿下御通過當日の哈爾賓

閑院宮殿下御一行は十六日午後七時十五分哈爾賓御着あり同七時四十分大本營に向け直行遊ばされたり之れより先軍樂隊の吹奏裡に御下車遊ばされたる殿下には陸軍大將の軍服を召させられ内山大將以下の隨行員及び長春まで出迎へも

◆露國より特派 せられたる侍從武官タキシエフ少將を首め軍管區司令長官鐵道旅團長日露兩國領事其他の隨員を從へさせられ奉迎の露支高等文武官外交團に握手を賜はり佐藤領事は一々紹介申上げ最後に記者團及び

◆在留民代表者 に御會釋ありプラットボームにて燦然たる聯隊旗の下に整列御警衛申上げし歩兵一個中隊より成る儀仗兵を御閲兵あり貴賓室に少憩の後構内を數回隨員と共に御散歩あり發車時間の切迫と共に殿下には再び露支文武官に御挨拶の握手あり御機嫌麗はしく最後部の展望車に召させらる斯くて徐々として列車の構内を去らんとするや殿下には御叮嚀にも奉送者に對して

◆車内より擧手 の禮を賜ふ刹那室内の電光に相映じ神々しさ譬ふるにものなく奉送者の頭は自ら下りて仰ぎ見るものなく滿場粛として聲なし奉送者は列車の見えずなる迄御見送り申上げ只管御旅程の平安と御愉快を祈りまつれり佐藤領事は引續き滿洲里迄奉送せりクルイロフ參謀は警備司令官として二十名の兵を率ゐ之亦滿洲里迄御同乘申上げたり當時露國官憲軍隊は

◆日露國旗を翳 し停車場入口には日露大國旗を交叉し夜間は數百燭の電飾を施せり驛頭の日露兩國旗は颯として南風に翻り美絶壯觀を極む尚ほ御召車の通過二時間前より踏切の通行を禁止せし爲め支那街唯一の通路絶ゆ車馬の停滯數丁に及び御召車の御通過後一時間に至るも絡繹として絶えず雜踏を極めしも露兵の嚴然たる警戒に依つて何等の事故をも生ぜざりき要するに露國側の誠意は遺憾なく發揮せられたり（哈爾賓特電）

萬一の際 京城水道の準備
人夫も檢便の上に傭入れよう 官設水道共用栓を開放しよう

虎列拉の豫防が第一に飮食物に對して衛生設備を完備するにあることは云ふ迄もなく市内の各飮食店、青物市場等に對し夫々嚴重な

▲取締を斷行 することになつて居るが就中二萬六千八百九十八戸人口八萬四千四百九十人の顧客を有する京城水道の防疫取締を如何にすべきかは最も重大問題である、京畿道水道係は別項掲載の如く仁川水道の水源地に對し外界との交通を斷ち病毒の蔓延を防ぐため發生地附近の井水を閉鎖し官設共用栓を開放する等の方法を取つたが更に

▲京城水道に あつても萬一虎疫の侵入し來たる場合は大英斷を以て左の防疫設備を行ふことゝ決定した先づ京城、仁川水源地構内の各通用門を閉鎖し淨水池には鍵を下して附近の通行を嚴重に取締り若し所用あるものにして構外より出入の際は機關室に近き一門に限り出入を許すも出入門の附近に檢疫室を設置して一切檢疫後入らしむることゝとする

▲其檢疫方法 は每日出入の際各人別に健康診斷を行ひ更に一日一回一人宛檢便をも行ふ水源地從業員の出入者には每日健康診斷の後入浴せしめ別に設けたる消毒衣を着せ携帶品等は全部消毒したる上搬入を許すと云ふ頗る嚴重な豫防を行ふ筈で此爲め流行期間中常備醫師一人を置き檢疫及び衛生上の監督をなさしめることゝなつた尚ほ水道は

▲一定の期間 内に漏過池の浚渫を行はねばならぬが其ために臨時に傭入るゝ人夫なども從業前十二時間前に召集し檢便の結果を俟つて採用すると云ふ樣な細心の注意を拂ふ又警察官憲の應援を求め水源池の内外を警戒すると共に取水部位附近就中漢江上流沿岸にかけ水質の安固を確保するためには

▲水上警察の 保護を求むる筈である此樣にして水質の完全を保護すると同時に源水の清濁に拘らず時々水源地に藥品を投入して沈澱法を行ひ水道係員は每日水質試驗に就中虎列拉菌の調査を行ふて淨水作業の完否を檢することになつて居る位に注意し市内に供給し居る上水なれば

▲生水のまゝ 飮用すると何等の危險はないが萬全を期する爲め一度煮沸すれば安全である尚ほ市内に發生した場合は今回の仁川と同樣發生地附近の井戸を閉じ官設共用栓を開放して上水を飲用させる

仁川に又々六名
市民は豫防衛生を怠る可らず

仁川の虎疫は愈々流行の兆を呈し十九日午前に至り又々花平里居住鮮人金福順（九つ）朴泰勳妻李氏（三十）松峴里崔於連（七つ）同里金昌雲妻李氏（三十）は何れも十八日午後十一時發病し十九日午前疑似虎列拉として隔離病舍に收容せられ十九日午後一時また〳〵新花水里二百五十四番地申聖玄妻黃氏（二〇）及び龍里七十五番地宋化西妻崔氏（三二）の二人疑似虎列拉に罹りたる事を發見し内申聖玄の妻は十八日午後四時頃發病し十九日午前二時死亡したるが之れにて仁川の虎疫は眞正二名疑似十三名を發生したる譯なり患者の細菌檢査は三十餘時間を經過せざれば眞正と確定し得ざるを以て此の際京仁の居住者は豫防衛生を怠るべからず（仁川支局電話）

製絲工場全燒
損害三千五百圓

十九日午前二時四十分京城忠信洞百四十番地林由之助經營の製絲工場より發火し鍾路警察署員常備消防隊出動消防に務め工場の建物一戸二棟を全燒したるのみにて同三時三十分鎭火したり同工場には機關を設備しあり其狭間附近には石炭、鋸切屑、松葉等山積し在りし爲め煙突より散亂したる火の子が松葉に燃え移りて大事に及びたるものにて出火を發見したる際は火勢頗る手の付けやうなく工場内の小器具は搬出したるも五百三坪二階建一棟板葺平屋建一棟（各三十坪）及び機關を燒失し其損害額約三千五百圓に達せり尚ほ工場主の居宅は離れゐたる爲め延燒を免れたり因みに同工場には三千圓の火災保險を附しありと

哀音 遭難の士卒を葬る
圖滿江架橋演習中任務に斃れし四氏

會寧工兵第十九大隊三中隊にては十五日午後二時頃より矢内中隊長指揮の下に豆滿江架橋演習地附近に於て水雷爆發の演習を實施したるに午後四時頃同隊中平一等卒が演習用の黄色藥を填充したる水雷爆藥を河中に運搬せんとして誤つて小石に躓き打倒れたる際携へたる爆藥を地上に落したる一刹那

▲轟然たる音響 と共に爆發し爲めに一等卒中平善秀は元より附近にありし上等兵山本悦三郎は即死し上等兵小林繁治二等卒辻本健藏木野本泰吉等は何れも重傷を負ひ尚ほ飛散りたる砂礫の爲め卒五名の輕傷者を出したるより一同驅寄り負傷者に應急手當を爲し衛戍病院に運搬したるが虫の息なる辻本二等卒は運搬中死亡し又た小林上等兵は入院後午後九時遂に絶息したり木野本二等卒は右足大腿部骨折し居るも

▲生命には別條 なかるべしと尚四名の死亡者葬儀は十六日午後三時より練兵場に於て執行せるが軍隊將卒及び官民の會葬者多く盛儀なりし因に大隊には其筋に上申して壯烈なる最後を遂げたる四名に對し進級の手續をなす由

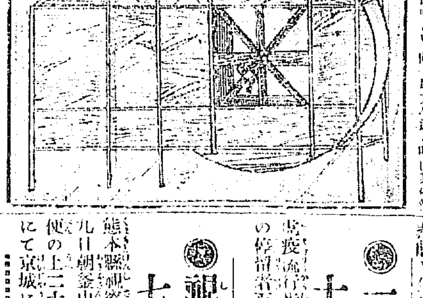
須磨丸解除

虎列拉病患者乘船嫌疑にて停船中なりし須磨丸船員及び乘客の糞便檢鏡の結果病菌なきを確めたるを以て十八日夜停船を解除されたり（門司特電）

朝鮮人一青年の機械發明

京城府舟橋町八十三番地農學士劉泰魯氏は今回風力撰鑛機を發明し目下試驗中なるが果して此風力機にて完全に撰鑛し得べきものとすれば從來撰鑛の爲めに費したる多大の勞力と費用とを省き鑛業界に一大革新を齎し來たりて其の發明に就て曰く

抑も此の考案の原理たるや他ならず其物理學を利用したるに過ぎず今假りに同一容積の物體を同一風力を以て吹飛せば其物體の含有比重によりて吹飛されるべき距離に差異を生ずべし此れが撰鑛するに最も適切なる原理なり而して一時八十目或は此れ以上なる[illegible]作し此れが振動すると同時に篩の下部より[illegible]の落下する側面より同一風力を送る時は其の



[illegible]にて落ちる鑛泥は殆んど同一容積の物體に近く其の比重に於ては金屬と純然たる鑛泥に就て著しき差異あるを以て其等の物體の落るべき距離には自から異なるべし斯くの如く處理し反覆淘汰する時は殆んど廢物を以て有利なる貴金屬を取得すべきは勿論素より含金量の多きものは多大なる利益を得べきは言を俟たざる而して鑛泥を脱除したる殘物は純然たる[illegible]又は次第に篩目を減少し（篩目を大くす）順次淘汰する時は如何なる含貴金屬の品位低きものを以てするも遂に含貴金屬の品位[illegible]なるもの得べし此れ金鑛の鑛尾に付ても殆んど廢物に近き百萬分一なる金位を含有する鑛尾百噸を處理し沈物二噸を得ば百噸内外を收得すべし斯くの如く處理し得ば朝鮮には廢鑛となし得べき鑛山はなかるべし云々

大同江に若い女の死體

十八日午前七時頃平壤稅關北方の大同江河中に若き婦人の死體浮き上りたるを折柄通行中の鮮人某が之を發見し平壤署に屆出でたるより係官出張檢視を遂げ投身者の身許を取調べたる處同人は平壤稅關小使德永某の娘と（二〇）と判明し同家に通知したれば家族は涙と共に屍體を引取りたり同女は之まで[illegible]市中に住込み居たるが何故か數日前歸宅し去る十四日突然行衞を晦ましたるより由にて原因に就ては種々の説あり同女は性來非常に淫奔なる女にて既に姙娠三ケ月位なりとの取沙汰さへあり多分情夫の關係より此の悲劇を生みたるものなるべしと（平壤）

一連絡に百二十五名停留

虎疫流行指定地撤廢の結果十九日朝の停留者百二十五名の多數に上れり（釜山特電）

北京いろいろ

三、豪奢の跡

中央公園の北裏道を僅かで離れると大理石の橋が架してあり、欄に凭つて蓮花に眺め入つてゐる家族連れの婦人が池中の[illegible]の彼方は宮城の内壁で城壁の隅角に一棟建てられ黄瓦輝然として城壁の濃い色と相對してゐる。西華門を潜って愈々紫禁城裡に入ると北寄りに西華門がある、例によつて黄瓦燦然として階と欄とは

□純白大理石

で飾られた殿堂樓門眼前に現はれ道に[illegible]を敷き欄に花朶を植ゑ[illegible]王の座の一班たる彷彿せしめ[illegible]殿の[illegible]たるものがある。是れが[illegible]、彼れが承運殿、夫れが綏文門、彼方が綏武門と到底[illegible]されない程の傑然と聳き並ぶ[illegible]へられた門を潜り殿前を過ぎて大石の勾欄灰色に埃積りしものゝ規しかすかに壯大なる前に控へて面した一大殿堂の前に出る。武英殿と言ふ。茲に清朝歴代に秘愛された御物を陳列してあるのである。觀覽料一元を拂ふ。先づ東廂凝道殿に入れば七寶の器物、珊瑚、瑪瑙、青玉、翡翠、其他ありとある珍石寶玉を以て

□造花盆栽を

彫刻象嵌し眞に神に入るの妙技精巧繊細正に[illegible]を奪ふ許りに、キラ〳〵と[illegible]前に並べ立てられ一々札を附して説明が記されてある。[illegible]に[illegible]すれば殆んど總て[illegible]乾隆の年號であり殆んど總て[illegible]熱河の離宮より運ばれたものと

□武英本殿に

入つて先づ凝視佇立せしめられるのは正面に掲げられた[illegible]の[illegible]として[illegible]の大[illegible]の[illegible]である[illegible]

□陳列棚の裡

『オヤツ是れは？』『ハハア[illegible]くてせう。フフム。』とOさんは皮肉に笑つた。玻璃の[illegible]には二振の短刀が繁縟の鞘に[illegible]を[illegible]ひて据ゑられてあつた。其二振の短刀の柄に一分の隙も無く小豆大の金剛石が嵌め込まれて午後の斜光にキラ〳〵と七彩に輝やいてゐるのだ。『不良から持つて來たさしてある。乾隆時代のものだとしてある。』Oさんは『また[illegible]たる[illegible]な[illegible]』と頻りに先を急がせる。（花々生）

仁川水道
職員の家族を別居せしめて警戒

仁川にありては水道としては松林出配水池の監視を嚴重にすると共に出入門を閉鎖し物品の搬入には嚴重なる消毒を行ひ各門を鍵鎖して職員と雖も消毒後に非れば出入せしめず加之職員の家族中外出多きもの例令ば兒童の通學するものは別に家を借りて別居せしめ京畿道より絶て水質試驗員を出張せしめ市内の各栓は勿論水源地より配水池に至る各水種に就て水質試驗を行はしめつゝあり

瀆職事件公判

十八日大阪控訴院に於て開廷されたる瀆職事件公判は十九日も引續き開廷白川、水間、板倉、增田、村井、根岸、高津の事實審問あり引續き十九日も開延續行すべし（大阪特電）

病人を蒸殺す
火を使ふ鮮人祈禱師

全羅北道[illegible]郡[illegible]面[illegible]洞朴[illegible]（一九）は昨年七月以來病氣に罹り加療せしも一向快癒せず本年九月一日同道[illegible]郡[illegible]面[illegible]洞鮮人祈禱師某（三五）が來合せて是は鬼神の祟りなれば祈禱しやるべしと患者の頭に九個の小瓶を並べて油を入れて點火し召使の頭より石油を打ち被せて其の上から油をかけ火を注ぎ苦悶すれば家人共々て遂に[illegible]殺したる[illegible]は翌日[illegible]憲兵分遣所の手に逮捕されたり

視察團員三十七名の停留

熊本縣視察團三十七名は櫻丸にて十九日朝釜山着同地に停留たらしが[illegible]の上二十日午前十時三十分發列車にて京城に向ふ筈なり（釜山特電）

停留室の落成

神仙臺檢疫所に新築中なる停留室四棟の内第一號九十五坪、八疊十六間約六十名收容すべき一棟は十八日竣工せしを以て直に請負者より其筋に引繼を了せりと（釜山）

●熊本教育視察團歡迎會 熊本教育視察團入京の事は既報の如くなるが二十日午後六時より京城ホテルに於て熊本縣人會主催にて歡迎會を開催する筈にて目下會合者八十餘名に達する見込なりと

談合事件と辯護士

鐵道局請負工事不正入札談合事件公判は來る十月二十六日大邱覆審法院にて開廷の事に決定せるが被告人側辯護人として花井鶴澤兩博士及小川堀池田諸の五辯護士出廷す可く猶ほ京城辯護士木尾虎之助氏外數名も多分被告人側の辯護に當るべし（大邱電話）

醫官の來仁

仁川の虎疫細菌檢鏡には京城醫專教授田中丸治平氏京城より助手と共に來仁し予生醫官を助け憲兵司令部附伊藤軍醫正亦來仁し諸官と共に防疫事業に腐心しつゝあり（仁川）

交通完全に遮斷せらる
應援警官三十名

仁川警察署員等は發生當日より非番は勿論當直醫迄も内勤を除く外全部出動し本日迄一睡もせざる程なるが發生區域も廣大にて仁川署員のみにては手に餘る有樣なれば京城より巡査、巡査補三十名の應援を乞ひ十九日朝より完全に前記松峴、松里、龍里と龍里の一部は交通遮斷を實行されたり

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▲狂歌題「財布」

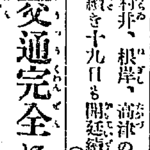
○妻負債不濟不在の夫が歸り妻夫に財布落せしと詫ぶ（一等） 京義線永同 江尻よか郎

▲酒飲のむねの財布はおかるでも飲んだ心ちはよいちべにかな 沙里院 立川よしの

▲紳士らしく見ゆれども化の皮財布苦が擬ろで窮々と鳴る 京城 谷の面發

▲債務に財布の紐を德の神一錢上げてどうか千両 京城 城田山翠

▲みの代の財布が佐の與市兵衞其太の財布にやのみ代もなし 三河國 關口晩昇



吉田學明

人事百般鑑定需應す

鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓

鑑定時間 自午前九時 至午後十時

大日本陰陽學會朝鮮支部

京城本町三丁目

貧血、虚弱、病後保養、神經衰弱、食欲不振、産婦營養、等に用ひて卓効あるは世既に定評あり

醫界の權威日本聯合醫學會は特に本品を提き選りに選奬せられ且つ賞狀を贈ふせるは以て本品の信用と價値をトするに足るべし

天然葡萄酒

發賣元 東京 長井越作

代理店 大阪 田邊五兵衞

牛乳浴を召せと全様に皮膚を美くしくする日本に初めて出来た

牛乳製品 ニウソ石鹸と ニウソ洗粉

特約店 京城蓬萊町四 東亞牧場

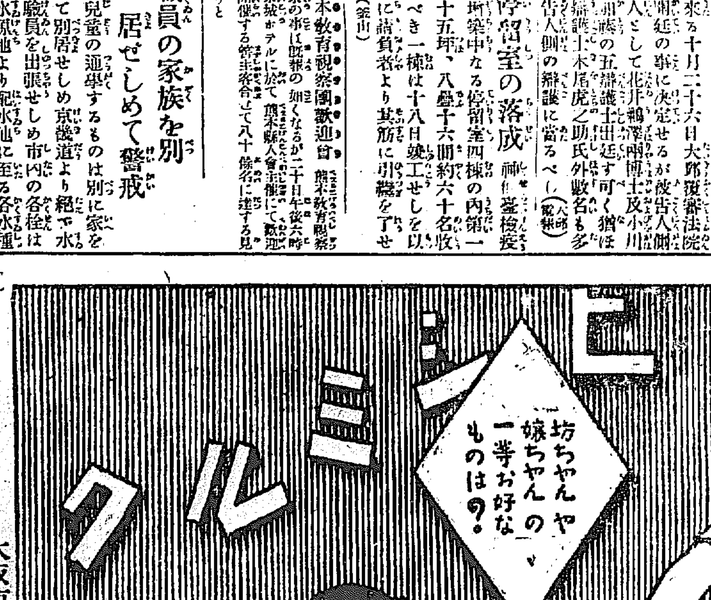
製造元 東京麹町 阪川牛乳店

内科 小兒科

芙蓉醫院

醫學士 森定吉

京城本町二丁目（瓦斯會社向側） 電話二六三番



大阪市東區安土町

洋酒罐詰食料品 問屋 祭原伊太郎

惟病者は漁夫

連絡船上陸者

天氣 晴れ一時曇り

…者したる漁夫の内香川縣人大…（一三）と云ふ者十四日頃より激烈なる吐瀉及び下痢を始め容態只ならざるより醫師の手當を受けたるに眞性コ…嚴重に勵行しつゝ…

●釜山停留者　十八日午前…

龍山に建つ新幼稚園

△若い婦人の經營

◇龍山鐵道局の幼稚園は不幸にして此の春から廢みましたが此の十一月初旬からまた〳〵私立の小さい幼稚園が設けられることとなりました

◇經營者は二三年前京城高等女學校を卒業した石田靜枝と申す婦人でまだ若い二十歳前後の女先生です

◇石田氏は女學校卒業後二箇年間を神戸の頌榮幼稚園に學び親しく米婦人ハウ孃の薫陶を被けたのでありますが這回自分の考へ通りに細々と獨立經營を思ひ立つたといふとです

◇氏のおはなしによれば朝鮮は朝鮮でそれ〳〵お母さん方の教育の御意見もありませうから其の仰せに從つてやつて見ようと思ひます

◇兒童は只今廿人ばかり近所の方をお預りすることになつて居ますが異當はせい〳〵十六人位ゐが理想的かと思ひます

◇まだ修養が足りませぬから一人で精神的に働きまして極めて質素にやつて見たいと思ひます……と

秋の彼岸

△廿日から廿六日まで

『穿かる彼岸の空や黍團子』廿日から廿六日までは秋の彼岸に當ります、秋の彼岸は秋分前後一週日、二百十日の二十日許り後に當ります、廿三日の彼岸の中日は晝と夜との時間が同じ時分でまた秋季皇靈祭を行はせらる〻日に當りますむかしから暑さも寒さも彼岸までと申し此の頃から氣候も漸次變化して參ります、彼岸の名は天文の方から云へば一年を七十二に分けた候の一つに當りますが

お休日記

△面白かつた林檎拾ひ

櫻井小學校尋六　小林勳

○八月廿四日(木)晴　風弱く波荒く、水泳の終る日である。天幕の中で着物を脱いだら寒かつた。やがて先生の號令の下に集つて、ザブン〳〵と水に入つた。先生は林檎を入れた籠を重さうに持つて來られた。皆にこ〳〵して見て居ると『それ投げるぞ』と一聲パラ〳〵と林檎が飛ぶ。うまく受ける者、波に流されるのを追ふ者、深山取らうとして、せつかく拾つたのを落す者もある。しばらくして陸に上つて見ると、持ち切れない程拾つて居る者もあれば一つも取れないで變な顔をして居る者もあつた。僕はたつた一つしか取れなかつた。

△菊と葵と

西大門小學校尋二　佐藤啄八

○七月二十四日(日)くもり、私のうちのにはに、きくと、あふひと、いろいろうゑて大きくなるのを、たのしんでゐます。今日は、くさをとつたり、水をくれたりしました。

▲池に龜を放つ

櫻井小學校尋四　細谷長男

○八月十六日(水)晴　父といつしよに、漢江に魚つりにいつた。なかなかつれない、そのうちに向ふの方に何か黒いものが流れて行く。父はあれは何だらうとおつしやつた。よく〳〵見ると、それは龜である。父はつりざおで手前の方にかきよせてお取りになつた。その時僕は大そううれしかつた。父も弟も皆よろこんだ。それからやはりつれないのでうちへかへつた。そして龜は京城神社の横のほりへ、はなしてやつた。

△旅行を止めて

西大門小學校高一　西慶次郎

○八月三日(木)晴後雨　朝から天候がおかしいので、今まで樂むで居た田舍行きも兩親の言はるゝまゝにやめにした。今までの用意もむだになつたやうな氣がして殘念でならなかつた。すると果せるかな八時半頃になると、ぼつ〳〵と雨が降り出して見る〳〵うちに俄雨にもなり出した。今日は行かないでよかつた。

△富平に魚釣り

西大門小學校尋四　丸山裕雄

○七月廿一日　午前八時半の汽車で富平につりに行つた。驛からは少し行くと池のあるところに出た。魚がぞろ〳〵泳いで居るのが見えた。うきをうかして居ると、ぶく〳〵と鮒はよろこんで、水の中にもぐつて引きはじめた。あげて見ると小供の指位のがかゝつた。午後一時頃かへる。停車場の井戸のところで友達がバケツを入れかけたら驛の人がおこつて來た。西大門の停車場へおりると、江口君たちが『たくさんとつたか』といつて、せゝりましたので魚は死んでしまつた。

△昆蟲採集

西大門小學校高一　清田由

○七月三十一日(月)晴　風呂の水を汲み込むと、東の空が紅になつた。九時半、森さんの所へ使に行つた。父から貰つた網の初オロシをしたかつたので近藤君と二人で李夏榮さんの家へ昆蟲を採りに行つた。かみきり、こくぞうむし、こめつきむし、蝶などとつた。晝飯後も亦昆蟲を探つたが午前とはちがつて池の方でみづすましとげんごろうが採つた。歸つてから夕食して明日の水泳の支度をした。網をそつとしめて見た。

神社とお寺と教會

○曹洞宗別院(若草町)　廿日より廿六日まで毎日午後二時及び午後八時の兩度 秋季彼岸會の誦經及び說教あり廿日は午後二時及び午後八時の兩度誦經、修證義說教あり

○護國寺(旭町三)　廿日より廿六日迄彼岸會執行毎夜午後七時より法會あり、初中結三夜午後八時より說教あり、廿三日(中日)午後二時より法界大施餓鬼修行の由

○天理教(古市町)　二十日午後二時より月次祭あり

○高野山別院(新町)　二十日より二十六日まで毎日午後二時 同八時に法會執行し主任金武師 布教師宗田慈海師の說教頭に都築回向等あり

―△會のいろ〳〵▽―

△南大門小學校報告會　十九日午後四時より同校講堂に於て休暇中内地に出張せし城府内各小學校訓導の報告會を催せり

△兒童用帳簿展覽會　十八日より十九日午前中南大門小學校にて開催せり

●大橋主幹旅行　日本赤十字社主幹大橋次郎氏は南部地方視察の爲め十九日朝公州、清州、滄州の地方へ向け出發せり

△洋畫展覽會　青年洋畫家岡松相様氏の洋畫展覽會は廿三日廿四日の兩日本町一丁目商業會議所樓上に於て開催金剛山の小品深山あり因に氏は淺井忠氏及び鹿子木孟郎氏に學びたる新進の青年畫家なりと

あちらのことども

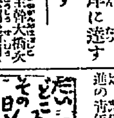
（二）山拔崗の洋行土産談

◆停車場の失敗　それからまた、あちらの園遊會に招かれて感心したとは、集つたお客が皆物靜かで、禮儀正しいとであります。美しい芝生の庭に白いテーブルかけの敷かれた卓の上には、數々の御馳走が陳べられてありますが、お客は皆ナイフとお皿とフォークを持つたまゝ靜かに御馳走をいたゞいて居ります。然もかなりのお客であるにも拘らず、一向ガチャガチャといふ雜音さへも聞ねません。これも前の食堂と同じく、各自が皆、禮儀を守つて、先を爭はぬためで、ありました、此の點私はこれまで故國に於て經驗した園遊會のを思ひ出しましたが、內地で私の見たお客様は皆立派なお歴々にも拘らず、何れも御馳走の先を爭ふて、われさきにと手をお皿にのばす。他人を押のけてせり出しになる。御馳走をにつけて大騒ぎ遊ばすといふ風で、如何にも英國風とは相違があると思ひました。紳士とは申すまでもなく平素のたしなみによるとでありますが、日本では兎角教育ある人でも、氣付かずにやつて居られるといふ風が見ねます。ところが斯く申す私自身も亦、倫敦のステーションで大失敗をいたしました。それは或日のこと、田舍に行かうと思つて停車場に出ますと、何分幾つも〳〵のプラットフォームがありますので、却々勝手が解りません、その內時計を見ると時間が迫つたので大あはてにあはて、改札に飛び込みました、すると驛夫は叮嚀な言葉で『どうぞお後に願ひます』と申しますよく見れば、其處には一人一人順序を守つた旅客が、順々に自分の番を待つて居るのでありました。私は此の時冷汗背を濕すといふ感じが致しました。

番茶のあと

露西亞においでになつた閑院宮殿下がこの程安東縣を御通過になる際同地の金銀細工人平野宗次氏は謹むで一書を殿下に奉つた△それは今を去ると廿四年前の日清戰爭の時殿下は親しく鴨綠江渡河戰の第一線に立たせられ畏くも桂中將と立見枝隊の連絡をとらせ給うたとがあつた▲其の際殿下と共に砲煙彈雨の間を冒して首尾よく重任を遂げたのが當時の歩兵上等兵平野氏であつた△殿下は這回齋戒沐浴して奉つた書面を御覽せられていとも感慨深き御様子であつたと承る

だいどころ　その日〳〵



□あぢのりまき　鯵を三枚にして薄身をとり醋油につけて置き三四時間後取りあげて金串となして中火にて燒き淺草のりをあぶりて布巾の上に擴げて其中に前のあぢをのせ〳〵に生姜をせん切りしたると一所にくる〳〵とまき鋸がこれで丸き形となる樣に卷き五分程に切りて盛る（青木はつ子）

商況

東京株式特電

十九日前引 大引　東京鐵道、日本郵船、京城電氣、鐘淵紡績、大日本麥酒、日本石油、東株新、東株第一、東新第二、東新第一、株式第二、諸株不鑑す　[illegible]

公債直取引（東京特電）

十九日出値段（前日との比較）　[illegible]

深川在米特電

十九日現在高　朝鮮米、臺灣米、內地米　[illegible]

東京期米特電

十九日前場 十一月限　寄付、高値、安値、止め　[illegible]

大阪株式特電

十九日前場 十八日前場　[illegible]

大阪期米特電

十九日前場　當限、中限、先限　[illegible]

下關期米特電

十九日前場　當限、中限、先限　[illegible]

大阪三品特電

十八日前場　[illegible]

雜報

●洋鐵類は漸騰　鐵洋の內地近況によれば在荷の閉溜み鐵物市場も漸く品薄となり在米の見込は今來月を以て全部入港も覺束なく…[illegible]

地廻正米安氣配

正米は過般來地廻りの潤高と地方の出水に一時廻米杜絶したるより…[illegible]

●京釜線地方　相當割安　商談を進め來る…[illegible]

昆布類氣丈

地共に凶作…[illegible]

至當相場の下落

[illegible]

●鹽鯖入荷す　[illegible]

人氣は飽迄強硬　當然不漁

[illegible]

田中

田中商店　電話二四五二（？）　[illegible]

●軍隊米入札　[illegible]

●染料は氣丈　[illegible]

上製百二十圓以

十五圓高　二十圓乃至二十

京城正米

約二十錢安

南大門の廻穀

平澤玄米、黃州小麥、沙里院新穀、江景籾、平壤栗、水原白米　[illegible]

京城雜穀

小豆は不實大豆は品薄…[illegible]

仁川現物市場

△籾入津少なし　△正米入津少なし氣配別段變らざる　△小麥入津少なし氣配保合

利　仲買店

釜山穀物市場

十八日　[illegible]

仁川期米

十九日前場　大阪天候晴天

前寄十二圓七十一錢と昨止より十六錢安

二錢三節八十錢

大阪四節八十錢

四錢と伺高移り

跡跳ね返し

市場雜聞

前場保合

確實　迅速　廣澤正太郎

前場の手振

遂に保合

△今能く賣る

一圓六十七錢迄

筋の外賣物皆無

硬氣

人氣の消長

依つて起る

關係と事情の如何に

其間仕手の

割高に就き

格付發表

新動機待ち

人氣は割高に買ふ

△能く買ふ

仁川米豆取引所

十九日の十一月限

	前場	
寄付	[illegible]	
高値	[illegible]	
安値	[illegible]	
出來高	[illegible]	

平均値段　賣買取組高　[illegible]

小賣白米

現金賣　一等白米　十六錢　[illegible]

十錢　二十錢番券を呈す（但何番何號で明記に限る）

酒煙草きらひになる薬　禁酒丸……禁煙液……どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈　其他名士　大阪市靱南通二　本舖 森田商店

移轉廣告　本院仁川分院儀仁川本町三丁目四番地（井上藤吉商店下）ニ移轉從前ノ通リ治療ニ從事ス　九月十日　野田齒科醫院

廣島名産　山まゆ織　冬物獨特一手販賣　各種見本進呈す　廣島市大手町二丁目　高橋光時商店　振替大阪二〇六九

移轉御披露　今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候舊倍の御引立奉願上候　京城本町三丁目四九（松金前）　傘提燈商　三根屋　電話取次二七一二番

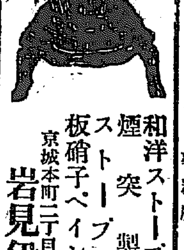
仁川宮町一丁目　橋本製靴店　電話『武武武番』へ御知せ被下度候

京城名物　新栗ヨウカン本日ヨリ發賣　栗ヨウカン　栗ヨウカン　栗ヨウカン　京城本町二丁目　龜屋商店　電話二十七番　四七五番

くだりはらの氣持よく止まる　健胃固腸丸　大阪　谷田春堂　到る處の藥店にあり　食傷　寢冷　時候あたりから起る下痢と腹痛を治す　定價十五錢　三十五錢　五十錢　一圓　二圓五十錢

山田醫院　本町二丁目四十五　電話一二八八〇番　內科　小兒科　花柳病　眼科　呼吸器病　胃腸病　專門　山田萬作　（入院　隨時）　尾形周太郎

熱心誠實に事務を取扱ふ　辯護士　從五位　堀池常作　事務所　大邱府南龍岡町



和洋ストーブ一式　煙突製造　ストーブ据付　板硝子ペイント塗料　京城本町二丁目（電話圓二一三番）　岩見伊勢松商店

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり　新義州常盤町　綠屋旅館　電話六四番　親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

釜山着名商店

月刊商報發行送呈

板硝子輸出入商　●諸入向洋反物入替社製　釜山本町　村上元治郎

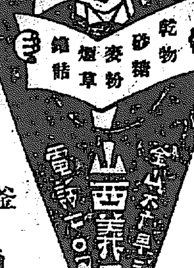
釜山本町三　近藤商店　電話七六八　振替三五八　日用雜貨　鍋釜　金物　卸問屋

高等雜貨洋酒食料品　サクラビールとダイヤ燒酎特約店　貝形ミルクとタリーム（？）　信濃電氣製カーバイト　釜山辨天町一丁目　電話一一三番、三二九番　福榮商會

內外雜貨卸問屋　近江屋支店　釜山本町二丁目　電話八二〇番

洋酒罐詰　銘茶　糖粉　石油　煙草　荷札　卸問屋　釜山辨天町　ビワコ屋　電話七〇五番　振替京城一六五〇番　（月刊物價表發行）

食料品雜貨



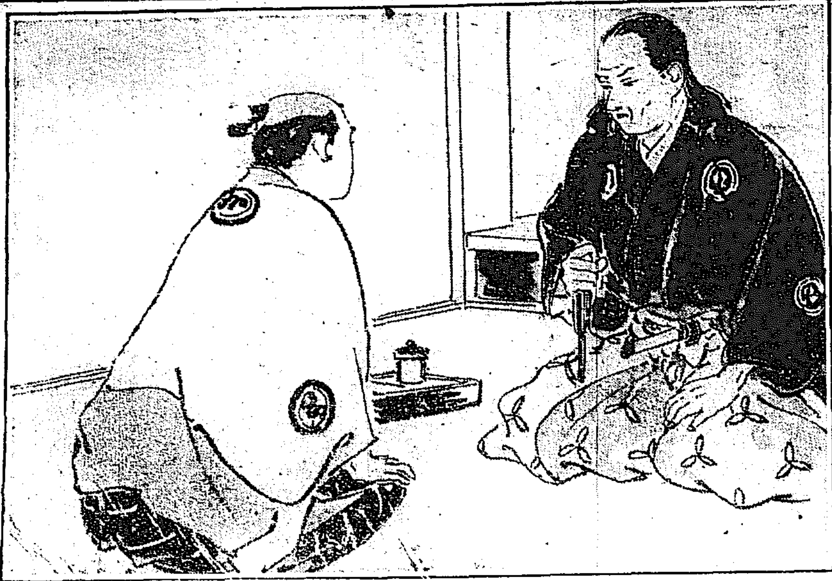
◎青竹組入　釜山港　島末材木店

宮本武藏

第百六十四回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

さて老中より上申いたしました御眼代再遣の儀、將軍御聞濟になつて、改めて松平伊豆守信綱に命ぜられました、所が伊豆守器量人だから直に副使を願つた、之れは副將があれば落度があつても輕く濟む、責任を免れる事が出來るからで、依つて濃州安八郡大垣城主十萬石戸田左門氏鐵を副使に命ぜられ、猶監軍として大目付榊原飛騨守を差添へられ、豊後府内目付石谷十藏、牧野傳藏の兩



人又監軍たるべき由御沙汰に相成りました、猶亦別しては細川黒田の兩家、至急歸國の上原山の城を攻むべき由仰出され、萬事の手配落なく濟んで愈々松平伊豆守戸田左門の兩使九州へ下向といふ事に相成りました就いては細川黒田兩家に於ても上使に先立つて歸國しなければ相成りませんから其々準備に取懸つたが、中に宮本武藏之を聞いて細川の太守御歸國あれば自分も供をして熊本へ歸らねばならん、孝子孝女に敵を討たせ本懐を遂げさせぬ中に出陣するやうな事があつては一大事、此上は片時も早く敵を引出して本懐を遂げさせなければならんと考へましたから早速水野日向守殿の屋敷へ赴き、日向守に面會して此事を頼み、猶白柄組一同へも話しをし置いて立戻つた、其晩宮本の所へ遣つて參りましたのが藤島新之助、武藏に對面して

新『さて愈々時節到來いたしました』武『ハア』新『今度島原の一揆に就いて松平伊豆守再度の御眼代を承はり彼地へ下向、猶黒田細川兩家の太守にも至急歸國あるべき由御沙汰になつたとの事』武『ム、』新『長東傳八郎は昨今黒田家の御抱人となつて居るため、太守御暇の節は同じく御供をして國許へ立歸ります、其で一橋如見齋が長東傳八郎の出陣を祝ふため、花々しき所の酒宴を開かうといふ考へ……』武『ハ、ア』新『來る十二月一日、一橋如見齋が主人役となつて門人一同、其外浪人細井上權左衞門、寺西彌惣右衞門なざといふ、面々、其他稻妻組の町奴總勢三百何十人といふものが吉原へ集ります』武『吉原へ集る』新『左様、併し吉原へ集るやうにしたのは拙者の發議で、吉原へ遣らなければ敵討に都合が惡いと考へましたからで』武『ア、成程』新『三百何十人といふ人數が仲々揚屋へ入り切るものではないが寧ろ揚屋などへ上るの何のと言はずに、仲の町の眞中へ花毛氈を敷き連られ、前代未聞の大酒宴を開かう、イヤ其れは面白い、是非傭ひ願ひたいといふ事になりました』武『フム』新『斯様に事の運びましたのは何より幸ひ對手は多人數で少し骨は折れますが、多寡が烏合の浪人共、此方は猶亦白柄組へ助勢を頼み先生が技倆を振つて御助太刀下さいましたならばヤソカ敵長東傳八郎を討得ぬといふ事はございますまい、同じ敵討、天下の法を破る事なら、往來稀れな田舍道なざで敵討をするより、花の吉原、三千の美人の集まる仲の町の眞中で孝子御姉弟に本望を遂げさせた方が世間の聞ゑも花々しく、我々初め助太刀の仕榮へもございます、此機會を外しては他にあるまいと存じますが如何で』武『イヤ其れは願ふてもなき幸ひ御骨折千萬忝けない、如何にも我等勇を振つて助太刀いたし姉弟に本懐を遂げさせるでござらう、假令敵何百人ありとも固より拙者命を捨て、懸る上は少しも恐るゝ事はござらん、對手は烏合の浪人共多寡の知れたる町奴片端から切つて落し死人の山を築いて見せる』新『勇ましい御言葉私も安心いたしました、其れでは當日までに又々御通知いたします』武『何かお願ひ申すまでもないがお氣を付けなさるやう』新『忝けなう存じます』と暇を告げて藤島新之助が宮本の屋敷を出で、鎌倉河岸の一橋の道場へ立歸つて來る丁度呉服橋の手前信濃岸河へ差懸つて來ると後ろからピタ／＼ピタと足音を忍んで跟て來る者がある、新之助が振返ると足音が止つてしまふ、又歩行出すと跟いて來る、さては思つたから新之助が立止つて後ろを振向く途端に、飛込んで來た一人の男、氷の如き一刀を閃めかして二ツになれと切込んだ

京染　呉服
京都たまや出張店
永樂町二丁目　電話一一九六

懸賞募集●新舊對照
新古書籍交換　振替京城三九四
廻讀會　規定目録進呈
京城本町一　電一三七八　松榮堂書店

九月廿一日九星
舊八月廿四日辛酉
本命九紫南甦先勝

▲九紫● 靜々整頓有る日新事見合 西方は吉婚姻
▲一白● 利を見逃す事有る日 新事手控ふ事 吉移轉等は見合す可し
▲二黒● 生氣轉居旅行
▲三碧● 好運の日轉居開業等皆吉 女子の日
▲四緑● 立身を爲す大いに振ふべきの日也
▲五黄● 實收よき日轉居旅行入學名弘求職
▲六白● 自綱自縛の事有る日注意 新事手控
▲七赤● 自分流義 吉又散財を防がる
▲八白● 勤功を顯す日 男子は志願を叶へ女子は望外の良縁を得る 辛抱して吉事が來る

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○九月十九日より特別大興行
○滑稽新馬鹿活動寫眞一卷○喜劇ポビーの失策
○探偵活劇『死の假面』全四卷六千呎
◎喜劇大久保彦左衞門一代記 全六卷

黄金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）
九月十四日より番組特別大寫眞
○泰西正劇『怪幽魂』全三卷
○吉原怪談手振坊主
○新派連鎖劇『己さん』
○大阪毎日新聞連載

大好評を博したる
大久保彦左衞門
イタヅラ小僧時代より七十三歳迄 怪傑六十年間の活躍痛快絶
○全六卷一萬二千呎二百七十場
眞の活動寫眞常設　**大正館**

有樂館　本町一丁目　電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約
○九月十五日特別大寫眞提供
○新派大悲劇新うしほ（盲目鑑者）
○探偵大活劇『モルガンの盗難』全三卷
○舊劇平井權八 全三卷

御成座　電一一九一町
朝鮮新派劇 林翆九一行
九月十七日より開演仕り候
吉田奈良雀　吉田浪子孃
軍事探偵橘秀雄　小栗判官

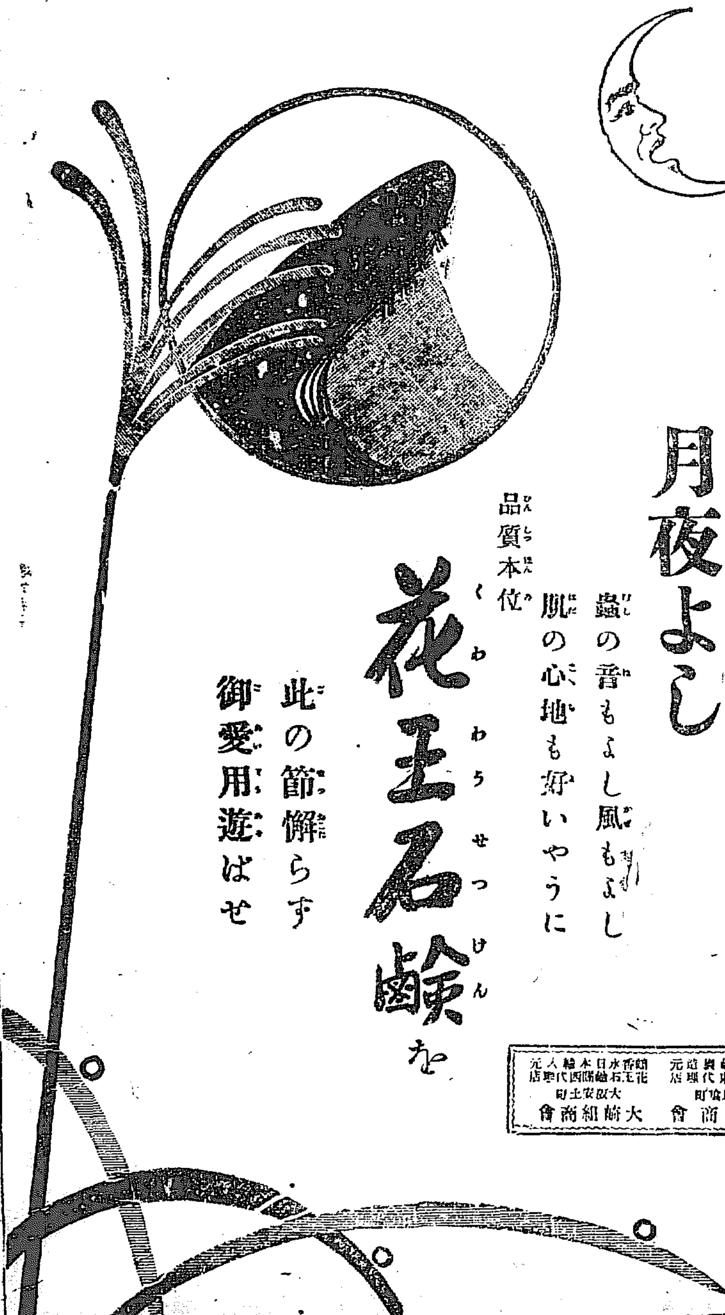
浪花館　明治町　電話二六〇
大阪女義太夫 竹本林之助一座
九月十九日晝夜
▲御祝儀の入船（入登）▲石川五右衞門釜煮の段 ▲日蓮記三段目 ▲御所櫻三段目 ▲卅三間堂棟由來 ▲加賀見山 ▲八つ朝顏日記 ▲忠臣藏八段目 ▲新版歌祭文お染 ▲三味線 ▲大切忠臣藏三段目
◎晝夜正六時より開演仕候

淋病内服新藥
リヨール
醫學博士學位 床試驗書無料贈呈
百入壹圓五拾錢　五〇入八拾五錢　三〇入五拾五錢
東京日本橋 ツヨーハ商會
關西代理店 大阪道修町田邊五兵衞

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

ニキビ吹出物など治すには
にきびとり
美顔水
常用すれば――ニキビ吹出物等を未發に防ぎ、皮膚の荒を去り肌理を美くし、素顔を美しくする作用あり。尚蚤、蚊、南京虫等に螫されたる時附ければイヤな痛さ痒さを止め毒を消す。

定價
特大瓶壹圓
大瓶五拾錢
中瓶廿五錢
小瓶拾貳錢



月夜よし
蟲の音もよし風もよし
肌の心地も好いやうに
品質本位
花王石鹸を
此の節懈らず
御愛用遊ばせ

花王石鹸 香水 製造元 東京馬喰町 長瀬商會
花王石鹸 香水 關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

汽車
京釜　南大門發
北行
南行

京城日報

廿日朝刊
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金拾錢 郵税一ヶ月金拾五錢 郵送に限り
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲特別欄内一行 ▲三號活字一行は二號活字一行は五號活字の ▲六號活字
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯 營業 販賣

虎疫と市民

京城日報

虎疫は遂に、我朝鮮に侵入したり。吾人は如何にして、之を撲滅せんとするか。京城二十四萬の市民は、如何にして仁川よりの、虎疫侵入を防がんとするか。諸君が虎疫に對する今日の覺悟は、唯二あるのみ。曰く其の侵入に任さんとするか、極力之が侵入を、防禦せんとするかにあるのみ。然れども之れ、最も明白なる問題にして、何人も爭ふて、之が侵入を防がんとするは正に當然なり。誰か容易に、之が侵入を許すものぞ。然れば之が侵入を、極力防禦せんとせば、我二十四萬の市民は、上下一致、之に當らざるべからざるは、言を俟ずべきの必要なし。多くの實驗と、廣き研究に據て當局者の防疫の方法は、著々實行されつゝあるも之れ戰爭に於ける、軍隊の行動に等しく、其の奮鬪と相俟て、之が効果を收めんと欲せば、必ずや吾人二十四萬市民の、後援なかるべからざるべからざる也。然り吾人亦武裝して、起たざるべからざる也。吾人の武裝とは何ぞや、曰く各人の豫防衛生にあり。此際各人の衛生を守り、豫防に努むるは、一面亦社會に對する、吾人の義務ならずや。鬪士外に出て戰ひ、吾人內に必守す、之れ虎疫に對する、唯一の防禦にして、且つ撲滅の最良法たりとなす。豫防衛生の事は、宜しく當局の指揮を嚴守し、以て之に悖らざれば可ならんも、勿論吾人の生命財産を危うし、社會に大害を及ぼさんとする惡疫に對する、豫防なるが故に、或は其の犧牲の、多大なるものあらんも、之は今日、吾人の忍ばざるべからざる事は、何人も既に知悉する處なるべし。而して吾人は、吾人として、更に一歩を進めて自衛的防禦を講ぜざるべからず。吾人は自衛的防禦に對し、大概五箇條の意見を有す、卽ち(一)醫者醫生は怪しき患者ある時は直に當局に申告の事(二)町內又は組合に於て防疫係長の如きものを選定し、豫防衛生の指揮をなし、其の町內又は組合中の人々に注意し、若し怪しき患者あれば直に當局に申告の事(三)隣家に異情ある病人ある時は、直に當局に申告する事(四)相互に衛生に注意する事(五)胃膓の健康を深く注意す。今日の場合、萬一市民に患者の現はるゝあれば、直に之に對して、相當の手當を行へば、病魔の蔓延を防止するの難からざる事は、既に各地の實驗に、證して明なればなり。されば此の自衛的方法と、當局の施設と相俟つて、疾病緩和、其の宜しきを得ば、虎疫如何に侵さんとするも、吾人又た驚くに足らず、之を防止する、又難からざる也。吾人の今日、五度筆を叱して、追に防疫を呼ぶ、吾人の衷心は、能く我愛讀者諸君の、悉知する處なるべし、敢て之が實行を希望して止まざる也。

觀光外客招致策私見(三)

―經濟調査會の研究問題―

朝鮮ホテル支配人 猪原貞雄

▲ホテルに於ける食料品の選擇

ホテルに於ける旅客の待遇及び料理法の如何は常に旅客の快不快を招ぐ重大な問題となるが、殊に日本に於ける料理に就ては各地とも非常に困難を感せざるを得ないのである、何となれば現今日本に於ける食料品及び飲料品は總てを外國から仰がなければならぬ。從つて輸入に對し重税を課せらるゝ上に品物も亦輸出向きの粗惡品が多く使はれて居る次第に外人常食のパンの如きも日本ほど不味いパンを出す國は先づ世界に類が無からうと言はれて居る位である。これはパン燒き職人も拙なく且つ製造法も幼稚な爲めで頗る遺憾なるであるが續いてバタの如きも近來日本で製造されるものが不足な上に、良品を得られぬのはこれまた遺憾な譯である。斯く毎日の食料品原料などが不味くては如何に日本の風光が瑞西や佛蘭西の東海岸に優ると雖も、漫遊客には花より團子で氣持のよい遊覽が能きないのも無理からぬ話、是非共何とか改良しなければならぬ。それに就て私の意見は成るべく外國製品を使はないで自國の製品を用ゐるといふことである。殊に目下は戰亂中でもあり大に自作自給の方針をとつて外人の嗜好する品を國內で製造するより他は無いと思ふ。假りに經營上から見ても折角遊覽客の遣つて行つた金を再び外國へ返すなどといふことは餘り感心した話ではない。話は少々餘談に亙るが現に朝鮮の如きは氣候や空氣の乾燥が大陸的であるから食料品や果實の罐詰に適して居る。殊に生の果實は素より其の砂糖漬、ジャム、罐詰、果實等の製造は最も適當だらうと思ふ。元來朝鮮の地勢が大陸と母國に介在して果樹栽培事業には頗る便利であること、及び其の成績の良好なること等は是非資本家の考究すべきであつて、且また現今良品の輸入に苦しみつゝある葡萄酒の如きも是非朝鮮で醸造したいものと思ふ。只今では上海あたり商人から輸入されるが如何はしい葡萄酒が、又は米國から色々形を變へて送られる葡萄酒のみにて總て優良なるものがなく日本では僅かに牛久及び甲穂等二三の葡萄あるのみとは殘念な次第で、これなども空氣の乾燥して朝鮮で醸造に着手したならばと痛切に感ずる次第である。彼の米國カリホルニヤ州に於ても今より十年以前の酒は頗る劣等なものであつたが今では相當立派なスパークリングワインを出す樣になり、また三鞭も醸造され出したと云ふ事である。カリホルニヤの葡萄酒は將來歐洲大陸の製品と市場に覇を爭ふ趨勢を示してくるであらう朝鮮の如きも今後大に努めなければなるまい。

萬里の長城

附明の十三陵

―三― 發楚桂

南口を離れて北すれば程もなく鐵路は勾配急なる坂路に懸り鬼餓たる峭壁左右より車窓に迫り殊に東方の連峰は斧鉞の跡を其儘に見るが如く巉々天に冲するもの、斷崖落ち掛らんとするもの、千態萬容將に活動寫眞の如く車窓に變轉して來る。車站東關を出でゝ更に北すれば地勢は更に轉して、今迄車窓に迫つた山影は遙く左右に退き、鐵路は溪谷を出でゝ山路に差しかゝつたかの趣きを見せ列車の進行次第に緩徐たるを覺ゆる山麓に生ひ立つ楊柳、楡棗の間々、甦草は擲を爲し黄葉點々野花亂れ彩り虫聲は蜒々として頻りは秋を深からしめる。放牧せられた綿羊の群動くが如く動かざるが如きを遠望すかと見れば、磯石離見たる裡に寢し孤裘佇み蠎蛇頻りなるあり、白雲の悠々たるは時化と空間を超越したるかの風趣である。白雲の下、青空にこと見ると悠々たる白雲の下、青空に轎然として波なす山の頂上に連城が隱見し出した。

『ヤッ見ねたぞ〳〵』と氣早やの學生連一齊に頸を車窓から突き出して眺め入り、中にはノートを取出してスケッチを初める者もある。此邊りの勾配は三十分の一で京張線中の最大難路たるのみならず支那鐵道中の最大急勾配なのだと云ふ。入口には『居庸關洞』と隧道がある。居庸關は塞北の要關で大書してある。准南子にも九關中の一と稱せられてある處だ相だ。同車の支那人を捉へて聞けば彼處が居庸關だ。と左手の谷間に數十戸の土造民家蝟集した部落を指す。部落を出でて一は登り一は下る細徑は宇の如く羊膓として溪谷を曲折迂餘する狀車窓より指呼の裡にある。五桂頭山洞、石佛寺山洞の二隧道を拔け、列車は不相變長虫の匍ふが如く遲々蜒々として山路を登り下午十二點四十六分一驛に到り停つた。青龍橋火車站である八達嶺は此驛から三十分路の處にあるのだ。上午八點三十五分北京西直門外の京綏鐵路起點を出で南口に停車する事廿五分四時間十一分にして青龍橋に著いたのである。一人の若い男が縁無し、リボン無しの羅紗の帽子をスポリと被つて如何にも人際れのした態度で、ニヤ〳〵と微笑し乍ら立つてる。八達嶺に案内してやらうと云ふんだ相だ。案内なんか要るものか、と力んでも連中の裡には八達嶺の方角を知つてる者さへ無いのだ。案内料は二元くれなどと云ふ、遣るとも遣らないとも言はないで、一行は荷を驛の待合に預け込んでゾロ〳〵と驛を出掛ける。例の案内者が先に立て行く後から蹤いて行くんだから矢ッ張り案内はされてゐると云ふものだ。陽は著からず照すが乾燥した空氣澄み透つてゐる爲め歩けば可成り汗ばむだ氣にもなる。

〔正誤〕第二回三段九行目『京城間列車運轉云々』は京張線間の誤植

日報歌壇

長崎逝水(京城)

すぎてこし少年の夢春のゆめみのこしゝものあることゝちかな

世になにか空しからざるものありや汝はいづれ空を仰ぎて

君をすて家をすてゝ遠き國にゆくわがたましいの沈めるあけぼの

このまゝに朝の來たらずとこしへに吾等を闇につゝめよと思ふ

神に似て消ししづかに瞳をつぶり赦されぬ子を忘れむとする

再築落成號發行

昨年十一月本社不慮祝融の厄に遭ひたるも十萬愛讀者諸君の爲に倍々奮鬪努力平常の眷顧に酬ゐんとし今日に及びたるが其間同人の精勵と江湖の贊翼とに依り直に再築に著手したる一屋も愈日ならずして落成を告げ太平街頭巨然として前日の雄姿を現さんとするは洵に欣慶に堪へざる所也されば今回聊か自祝の意を表する爲め來る十月一日より十日間再築落成號を發刊し更に一層紙面の體裁記事の精選報道の迅速正確を期し以て江湖の愛顧に酬ゐんとす是れ同人の微衷に外ならざる也敢て再築落成を報じ併せて倍々江湖の御同情を冀ふ 敬白

大正五年九月 日 京城日報社

早稻田中學講義

學費は最低廉 修了は短期 講義は平易 名譽學長 高田 總長 大隈侯爵 博士學士指導經營三十有餘年間 至れり盡せり 完全無比の講義録 今や入學の最好機

詳細の事項は見本規則書にあり申込次第直に送呈す

秋季新學年校外生募集

東京牛込 早稻田大學出版部

本邦第一の定評を博せる講義録 立身成功を欲する青少年諸君就て學べ 獎學メダル贈與其他諸種の大特典を提供すべし

海外研究會 必成渡航の大後援 海外社 無代呈

溫泉旅館 京元線釋王寺溫泉場 鶴松園 今や松茸狩の好季節

日本少年 十月號

▲東久邇宮殿下日本アルプス御登山記
▲大西郷末路 淺田大將 ▲旅順閉塞隊 寺垣中將 ▲戰場の紅葉 堀內中將
◎立太子禮全國兒童賀表捧呈記事
▲盆天地獄 ▲五郎正宗 ▲雨あがり ▲密書 小說 ▲恐怖 小說 ▲名捕手 小說
▲海賊船に囚へられた實話
▲金ヶ崎城 和田英松 ▲秋の腊葉 伊藤博士 ▲佐渡ヶ島 石本芳水 ▲忘れぬ人 ▲林檎の數 ▲港の一夜 ▲泣き顔 ▲聞き傳へ ▲寫眞小說

定價一部 拾貳錢 郵税一錢五厘 東京京橋 實業之日本社

謹告

弊商會儀從來大崎組商會大崎代吉名儀を以て營業能在候處格別の御引立を蒙り漸次發展の域に進みたるは偏に御懇情の賜と奉感謝候就ては今般合名會社の組織に變更し一層業務に勉勵可仕候間不相變御愛顧を賜り度此段御披露申上候 敬具

大正五年九月

大阪市東區安土町四丁目

歐米雜貨直輸入卸商 合名會社 大崎組商會

金鶴香水 ツル香水本舖

法學博士山崎覺次郎先生序 法學士富岡久次郎先生著 菊判上製全一冊 價金弐圓八拾錢 送料內地十二錢

最新刊 獨逸の大銀行及金融

我邦發展の原動力は此解決にあり

現時の一大問題たる起業資金の調達、海外貿易業者の扶植、勸誘の手段方策に就ては我國朝野の論々たる所、本書は實に此大問題解決の鍵たらしむべく公にせる恰當の發行にして獨逸工業の勃興、海外貿易發展に關する獨逸大銀行の任務及其關係並に實績を詳說し併て銀行業務の一汎を細叙闡明せり銀行家、金融業者は勿論學者も政治家も必讀すべき良書也

東京法科大學助教授 法學士 渡邊鐵藏先生著 菊判全一冊 正價金九拾錢 送料金八錢

時局の好讀物 歐洲戰爭と獨逸の食料政策

大戰は如何に終局すべきや〇本書は英國の兵糧攻略に對して獨逸が食料自給の方法を以て對抗し、官民一致、必死の努力を盡せる實況を詳細に描寫し此大戰爭に對する獨逸側の決心と努力の眞相を世に紹介し最後に獨逸が食料問題の爲に果して和を乞ふに至るや否やにつき著者の明確なる斷案を下せるものである。

東京神田 有斐閣 振替東京三七〇番

第三版

米價 一三、五〇 一三、七〇
▲十九日後場 寄付 一三、七五 中限 一三、二〇 先限 一三、五〇

▲今續て賣る 今前場目立ちて賣りたる同店は後場も三千餘石の賣り殘し一面千餘石の買ありた

▲現物界 一向商談行はれず見送りの狀勢にて氣配は別段變らざる

十一月限 十三萬二千六百石

◎與黨合同打合終了 新政黨政綱大要

高田文相は十八日正式に加藤總理及び尾崎法相を訪問し與黨合同計畫並に最近の狀況を說明し新政黨組織準備委員其他の件に關し種々協議したる由なるが合同に就き最も肝要なるは新政黨の政綱政策にして均しく大隈內閣の與黨たる以上現內閣の政綱と大差無き筈なるも時勢の進展に伴ひ人心を新たにする意味に於て世界的政策の樹立に努力すべく此の點に就きては加藤總理尾崎法相も同一意見を保持し十八日の會同に於ても既に大體の打合せを了したり而して今新政黨政綱の大要を聞くに(一)大隈內閣成立當初より歐洲大亂勃發し今猶繼續中に在る今日同盟及び協商の精神を尊重し與國並に友邦との關係を益々鞏固ならしむるは勿論時局の進捗に就きては帝國今後の位置向上に關し適當なる努力を爲す事を宣明す(二)日露協約締結と同時に支那に對しては幾に成立せる條約を益々實現すると共に兩國の親善を圖るのみならず金融機關の整備を爲し東洋永遠の平和を圖る事に就き充分なる方法を講ず(三)海軍擴張(四)在外正貨增加に伴ふ財政上の措置(五)殖產工業の發達と貿易の伸張を期す事(六)農村の改良社會政策の實施(七)海外發展策に就き完全なる政策の樹立等にあるが要するに從來の政策よりは更に一般の進展を圖り時勢の推移に伴ふものなるべし(東京特電)

◎伯林沈鬱の氣に滿つ 獨逸皇帝に對する國民の反感

ロッテルダムよりの報道に據れば獨逸皇帝は羅馬尼に向つて進擊せる獨軍が大勝を博したりと誇大の宣言を爲したるも公報に據りて此の勝報を確證する能はざりし結果伯林市を擧げて非常なる沈鬱狀態に陷らしめたり獨軍はソンム戰場に於て英軍の占領せる陣地を再び陷し入るゝ事到底不可能なりとの信念を抱くに至れるを以て獨逸皇帝は國民の注意をソンムより他に轉ぜしめんとの目的にて故意に國民を欺きたるものなりとて皇帝に對する反感益々高まりつゝあり(倫敦電報)

◎英國首相嫡子戰死

英國首相アスキス氏嫡子レーモン、アスキス氏は戰死せり(桑港電報)

◎占領戰線とジ將軍

聯合軍は九月に入り二週間內にペロンヌ、パボーム、テラスの戰線を占領したるが同戰線はジョッフル將軍が一昨年八月二十五日の軍隊命令書中發に聯合軍が白耳義國境より退却したる後此の戰線に據りて新たに攻勢を執りたりしならんには結果良好なりしならんとの意を示したる戰線なり(倫敦電報)

◎墨國內亂 ヴヰラ將軍の亂

エルパソ來電＝墨西哥地方官憲の云ふ所に據れば、匪徒襲來の結果チワワ州に戒嚴令を布けりと匪徒ヴヰラ將軍自ら統領となりて之を統率し其の兵數一千五百と稱せらるゝが彼等は十六日チワワ市にて二百五十名の戰死者を出し目下退却中なりと(紐育電報)

◎吉林兵依然不穩

曩に喇嘛荅村落にて我が騎兵を攻擊したるは吉林の支那兵にして彼等の態度は其の後も不穩なり我が各部隊は目下揚家城子に集中しつゝあり尙既電の如く十七日夜新臺子驛附近に於て我鐵道守備兵馬賊(?)の爲めに發砲され其の際負傷死亡せし兵士は吉田一等卒にて同人は腹部貫通創を負ひ翌十八日死亡したり(大連特電)

◎勃軍潰走

ストロッツ湖附近の地域を擄得せり(紐育電報)

◎滿洲內地人教育

船櫻丸より上陸九時五十分發列車にて東上せり氏の談に曰く。滿洲に於ける內地人教育は晩近に至り長足的の……滿洲の教育制度は日本の教育制度に比し頗る安易なるものあり學校に於ける規律及び訓節に涉る事……交通機關の完全なる爲か各學校互に連絡を執り其一事を決行するに當り手足を動かすが如く何れも行……め事の一致を缺ぐに比せば彼れの最も苦心して措かざるは滿洲に於て教育……す國家的觀念に乏しき爲め從つて……恩の如何を知らざるが如き一種の非國民的情緒を助長せしむるに至るを……的方面の教育のみならず物質的教育には最も意を注ぎ居れり當地にては我日本に於ける幼稚園に類似せる幼兒運動場と言へるものを設置し小學兒童を茲に收容して遊……居れり而して常に攻擊精神を涵養し能く守備隊守備隊と連絡を採りて兵式體操の如きは備隊のより特務曹長等來りて教練の任に當る等生徒は內地に比し元氣充實せり又長春の小學校に於て……

◎豫算閣議開會

十九日午前十時より永田町首相官邸に於て豫算閣議を開き大隈首相以下各大臣參集武富藏相より去る十五日の閣議に引續き大正六年度總豫算各省款項目に亙り查定の結果を數字的に說明し所管大臣の說明に對し藏相並に一木主計局長交々答辯する所ありて午後三時三十分散會せり(東京特電)

◎手島校長辭任

多年我國工業教育に盡瘁したる功勞に依り曩に勳一等を授けられたる東京高等工業學校長手島精一氏は教育界隱退の意あり既に辭表提出中の處十九日の閣議に於て其の辭任を許可し後任として同校教授工學博士阪田貞一氏を任命するに決定し不日公表さるべしと(東京特電)

□還幸啓御決定

十八日日光田母澤御用邸より還幸啓の御豫定なりし 天皇 皇后兩陛下には宮城內虎疫豫防消毒勵行の爲め御延期となり居りしが來る二十二日午前七時四十分日光御發輦宮城還御の事に御決定相成りたり(東京特電)

◎押川長官渡鮮

押川製鐵所長官は十九日夜の門司發關釜聯絡船にて釜山に向へり(門司特電)

◎柴參政官

滿洲視察中の外務參政官柴四郞氏は十九日午後六時三十分安東驛通過歸東の途に就けり(安東縣特電)

◎物價騰貴傾向 前月中に於ける主要商品の高低

京城市場に於ける八月中の主要品物價に就き確かなる筋の調査を聞くに朝鮮生產品は前月に比し騰貴十一保合三低落四にて結局騰貴多く輸移入品は騰貴八保合四低落二にて之れ又騰貴の傾向にあり今各種商品の騰落狀況を指數にて示せば左の如し(指數の起算は明治四十三年七月の相場を一〇〇とし算出す)

△生產品

商品	八月物價	前月	前年同月
玄米	一三七高	一二七	一一〇
精米	一一五高	一〇五	九五
大麥	一一三低	一二〇	九〇
小麥	一〇七低	一〇八	一〇〇
大豆	一〇七高	一〇三	七五
小豆	一〇三高	一〇一	六五
眞荏	一一九高	九五	九四
葉煙草	一三九高	一三八	一五二
明太	一六二高	一四六	一三三
鹽	八一高	七二	六六
木綿	九七低	九八	八八
綿	一五〇高	一四〇	一二〇
松挽材	一三〇高	一〇〇	九七
松薪	一四三保	一四三	一二六
木炭	一二五高	一一九	一三四
鮮紙	一〇九保	一〇九	一〇七
牛皮	二〇六低	二三四	一六三
牛脂	一〇六保	一六七	一〇八
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△輸移入品

商品	八月物價	前月	前年同月
麥粉	｜	一一五	一二五
精糖	一三六低	一三七	一三三
醬油	九八保	九八	九八
清酒	一二二高	一二〇	一一二
麥酒	九七保	九七	九七
綿絲	一〇八高	一〇一	八一
和金巾	一〇六高	九八	八四
支那絹	一〇一高	九八	八七
打綿	九四高	八九	七〇
石油	一七七低	一八八	一二四
石炭	一二七保	一二七	一三三
燐火	一三七高	一三五	一〇五
木材	一〇〇高	九七	九七
金物	二三五高	二三五	一四〇
洋紙	一六三保	一六三	九四
平均	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△騰貴十九品

▲玄米●七月末仁川定期の大受渡しありし爲め各地浮動米は殆んど同地に吸收せられし折柄同時期より當月初めに亙り同地相場依然上騰を告げたれば是等相待つて相場は躍進し一時は一圓以上の騰貴を見たるも中旬より下旬にかけ追々下押しに傾けり▲大小豆●前月來品薄なるに地方よりの入荷思はしからず此處端境期とて依然強氣配を維持せり▲明太魚●在荷稀薄●廻着物亦少なく昨年を超へたれば自然賣足早く一駄二圓五十錢方の騰貴を示せり▲鹽●前月同樣當用の需要あるに過ぎざりしも目先秋期に於ける需要期を控へ居ると天候不順の結果依然減產を唱へ市價引締まり上向きつゝあり▲鐵原綿●追々需要期の進むに拘はらず本年は原產地の出來高思はしからず廻着も極めて少なき爲め前月に比し一疋五十錢高となれり▲松挽材●前月の如き需要なかりし爲め小口工事を始むるもの續出せしかば稍活氣を呈せり▲薪炭●不相變產地より出荷少なき爲め本月に入り各品何れも上向きつゝあり▲淸酒●暑中の折柄とて例年なれば需要少なき時期なるも九月一日より新に酒稅令實施せらるゝ事となりし爲需要者側の現在品には課稅せられざる特典あるにより月末の賣高激進し殊に當業者は九月より一般に値上を實行の豫告をなしたれば在品全部を賣盡す向も出で市價緊張の裡に越月せり▲綿糸●米棉稀有の凶作を傳へられたると內外需要の盛季に入りたる事にて市價著しく昂騰せり▲和金巾●漸く需要期に入りたる際とて綿糸の強硬に伴れ先高見越買手筋の現はるゝあり殊に本品は支那印度向の手合せ續出する等益々強氣を煽り目先き一段の高値を豫想さる▲金物●前月迄引續き下落一方なりし鐵類其他も月初漸く大手合出來幾分引戻したるを動機として一勢高となり中旬には倍々強硬に傾きしが下旬に至り稍落付きたり尙ほ相場は目先需要期を氣構へ上向きの狀勢なり

△低落六品の內

▲大小麥●大麥は前月來の不味に加へ各方面よりの廻着殆ど絶えざる爲めに相場は引續き下向き一方にて小麥亦北海道筋の豊作を告げたれば市價の引直しを見ずして終れり▲牛皮●當……に好氣配を持續せる本品も近頃稍落ち着きたる矢先き紐育注文契約行惱み等の爲め追々氣迷ひの姿にて改良上品は左程にあらざるも普通品は幾分低落の氣味なり▲石油●夏期の閑散なるに從來比較的高値の爲め買行き捗々しからず相場下押勝ちにして市況不振に依つて當業者も値下げの見定をなし之れが市況の挽回を策しつゝあり

◎學校組合會議 新築校舍問題の審議

京城學校組合會は十九日午後三時より開會せり時間の不勵行は京城人の名物となり居り當日も例の如く開會二時間前位より彼方此方の議員に電話で呼出しをかけヤツとのことに九名の出席を見たるは豫定の時間より遲るゝこと將に五十分忙しい方のお揃ひ見た顏に以て御苦勞千萬なり……轉て金谷府尹より當日の議題たる

一、京城學校組合教育基本財產設置及管理規定に依り大正四年度決算剩餘金を……する件

一、大正五年度京城學校組合歲入出豫算追加更正の件

以上の二案に就て協贊を求むと述べ石原事務官は

▲校舍の設計及工費の大體に關して說明して曰く、來年度に於て京城方面に增加す可き就學兒童は約五百人の見込なるも之が收容は現在の校舍にては其餘地なく從つて差當り本年度に於て黃金町訓練院に普通敎室十二、特別敎室一、職員室一、其他附屬建物を新築せんとするものにして其の經費は新築及び設備を合せ四萬四千四百六十一圓を要し其財源は之を大正四年度の決算剩餘金二萬六千七百十三圓餘の內既定豫算に示せる繰越金七千五百圓を控除したる殘額一萬七千二百十三圓及び基本財產編入金二千圓及び組合一般經費に補助を仰がんとする國庫補助金二萬五千圓合計四萬二千二百十三圓を追加豫算に依り之に充當し爰に大部分の事業を遂行し得るも尙施工其他の費用を要するものあるが故に更に既定豫算の更正を爲し豫備費より二千二百四十八圓を支出し以て本年度に於る計畫の完整を圖らんとするものなりと結び、議案は便宜上一二號案を一括して第一讀會を開きたるに田中、竹我、山口の諸氏より設計の內容に立入り說明を求めたるに新築校舍は出來得る限り

▲經費を節約して建築せんとするものにして例へば前年西大門小學校が當時の坪當り百二十二圓五十錢の請負金額にして今日ならば百四十四圓に該當すべきものに比し訓練院小學校は坪當り百圓となり居れり然れども勿論敎育上何等の支障なからしめんことを期し只だ材料の點に於て多少下級品を使用せんとするに過ぎず從つて校舍全體として耐久力に於ても既設の各校と大差なきを信じ居れりと述べ更に語を繼で新築豫定地は訓練院の中央にある朝鮮建物より東大門に沿ひたる一萬一千坪の內約三千坪の地域にして將來同地が總督府の手に依て公園を經營さるゝに至らば小學校としては理想的の位置なりと云ふべく工事は本年十月より着手し來春四月の入學期迄には是非共開校せしむる豫定にて開校の上は一部

▲通學區域の變更を行ひ今日の所謂訓練院は黃金町四丁目以東東西兩四軒町舟橋町並木町其他約三十箇町洞の就學兒童を收容することゝ內定し居り別に櫻井及び日出小學校の收容力をして均衡を保たしむる爲め從來通學區域の者を收容し居れる兒童の整理を行ひ櫻井校の通學區域を大部分訓練院に移すと共に日出學校の通學區域を櫻井校に移すものなりと述ぶる所ありたり斯て本案は何分重大問題なれば委員を擧げ之に附託して審議せしむべしとなし選擧の結果竹我勉、大村百藏、山口太兵衞、大塚與次郎、太田の五氏當選し當日の議事を終り五時半散會せり委員會は二十日午前十時府廳に於て開會すべしと

●野田副總裁著全

野田東拓副總裁、阿部本社長は十九日朝羅州發正午過裡里著直ちに自動車を驅りて二時三十分全州著、平野屋に投宿せり二十日十二時發の輕鐵にて群山に向ふ筈(全州特電)

入事消息

▲加藤定吉氏(代議士) 入京中の處十九日出京

▲村上一郞氏(三井物產京城支店長) 同上

▲富永貞一氏(第七十九聯隊長) 十九日夜入京

▲川村鐵次郞 十九日夜入京朝鮮ホテルへ

◎南言北語

羅馬尼が蹶起して巴爾幹の舞臺がグルリと廻ると希臘も中腰になつて居たが▲何時の間にやらソロソロ腰を下したらしい▲希臘の腰を据ゑたのは一方から見ると羅馬尼の蹶起が豫期した程でなく且つ聯合軍側が思つた程有利にならなかつたから特殊の病ケ擬病を引き起したらしい▲其に就ても獨逸の勢力に決したのは全戰場に於ける聯合軍側の有利である事を證明して居ると共に更に又た考へるに之は獨逸が戰線縮少上から出た作戰ではあるまいか▲同時に豫言の通り獨逸の手で巴爾幹へ押し寄せる其れを例に希臘が漢ひ上つて待てノ〜を極めたのではなからうかチト穿ち過ぎて居るのか知ら▲此間大橋新太郎君と政勇との事を鳥渡紹介して置いたら▲過日東京の矢野恒太君の處に『大橋さんに宜敷』と云ふ手紙が舞込んだ相な▲之は突然知らん政勇が此の手紙で▲封筒に『重狀』とあるは流石行東の矢野孃さんで洒落たらしい▲受取た矢野君が洒落所ではなく直に懸り合の大橋服部兩君とも相談に及んで三人で政勇を引取らねばならぬと大屑入れ▲而して唯東京へ歸した許かして佛道つて鍵を入れないも同樣だと捨て居る相な▲之がほんとの用心から出た眞實だらうが識者論の著者は何時迄も粹士だわい

◎伊軍重要地點占領

伊國半官報の報道に依れば伊軍は九月十四日より十六日に至る戰鬪に於てカルソにてウヰップバ湖と海岸との間に於ける重要なる數個地點を占領し捕虜四千を獲たりと(倫敦電報)

◎敵軍陣地逆襲失敗

ヘーグ將軍十七日午後發表の公報に曰く敵はアンクルの南方に於て我が新なる陣地を逆襲し特にレスボブルス及びフレルスの北方に對し烈しく逆襲し來れるも我軍の爲め擊退され夥しき損害を被りたり我軍はモリエクール村の北方に於て陣地の防禦を一層鞏固にせり(倫敦電報)

◎ソンム捷報

巴里來電＝十七日夕刻發表の公報に曰く、佛軍はソンム河の南方に於てヴェルマンドヴィラー及びベルニーの兩村落並に其の中間の鞏固なる防禦地域を占領したり我軍の今迄に獲たる捕虜總數は七百名を算す(倫敦電報)

三浦浩東先生著
▲最新刊大好評 ペン習字手本 定價三十五錢 送料四錢 切手一割增
清楚流麗なるペンにて楷行草三體假名交り文、書簡文、和歌等を收む、學生事務家は勿論萬人向き理想的良手本なり
ペン字手本書法 ペン文字普及の爲め五千部特價七十五錢 定價九十錢 送料金六錢
大好評七版 手本は各書體一切を網羅し書法はペンの持ち方使用法點の打ち方ハネ方文字の組立等を講述せる日本唯一の良書なり
發行 東京四谷坂町 振替東京一七一三九 香誠堂

熊平謄寫版
製造發賣元 京城本町三丁目 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二二三番

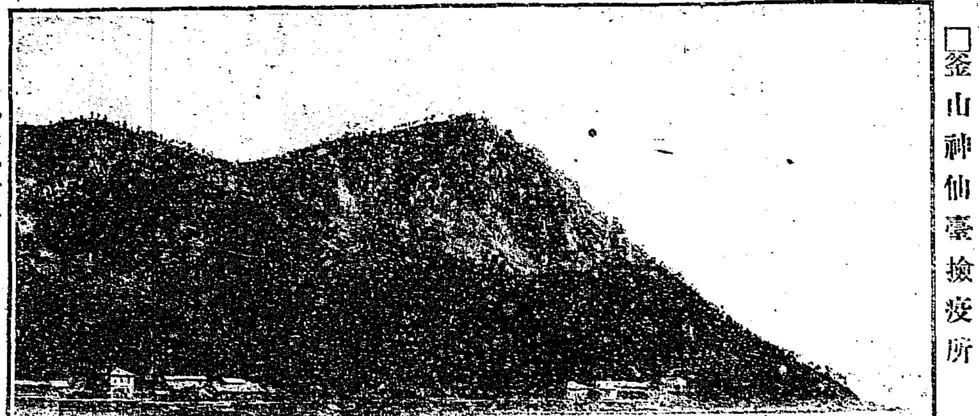
海員募集
最新の航海に關する學術を講義錄にて教授し海員養成す卒業者は各會社汽船へ直に乘船す四ケ月卒業會費二圓四拾錢校則進呈
東京芝愛宕町 帝國通信航海學校

谷崎潤一郞作 名取春仙氏挿畫
惡魔主義の作家 小說 鬼の面
四六版表紙總黑クロス本文五號總振假名付裝幀瀟洒紙數三百七十頁 定價八拾五錢 送料八錢 外地廿二錢
惡魔主義の作家として吾が創作界の權威たる谷崎氏の非凡の才能と藝術的思想は茲に「鬼の面」の創作となつた「鬼の面」は嘗て東京朝日紙上に連載されて頗る高評を博したる大正五年度の傑作である
本書は靑年の春期發動期に於ける性の誘惑と肉の衝動歡樂に溺んでゆくデカダン生活の學生壺井を主とし其周圍には紳士としての津村家の紊亂せる家庭や、令孃や小間使の心理描寫み氏一流の筆に描きたる一大長篇小說である
賣捌 東京堂、北隆館其他全國著名書店
發賣 東京日本橋區通油町 振替東京三〇五〇 須原啓興社

日韓書房 新版報告
山路愛山著 德川家康 定價一圓三十錢 送料十八錢
副業養鷄法 定價七十五錢 送料十錢
田山花袋著 時は過ぎゆく 定價一圓三十錢 送料十二錢
增補縮刷 日記及消息 定價一圓五十錢 送料十二錢
實驗 食物の研究 定價六十五錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話四一五 振替口座一一二五

文學博士 村上專精先生著 眞宗全史 價參圓 郵稅十六錢
▲親鸞上人の偉業たる眞宗の歷史を說ける書の部分的及個人的の者は其數少からずと雖も其全般を詳にせる綜合的歷史は……▲本書は……
博士多年苦心の大作 菊判八百餘頁の大冊
東京小石川原町 振東一五六八六 丙午出版社
賣捌 京城 大阪屋號

[illegible]奈し傍ら滿洲婦人に對し精神講話を[illegible]逆の工業學校の如きあり就中醫學は
つて潰走しつゝあり塞耳維軍も亦オ[illegible]得したるが十八日朝入港の關釜連絡[illegible]尤も進歩せるもの、如く思惟せらる
[illegible]を採れるを以て若し[illegible]二回の祭位に止まるにも[illegible]るとも直ちに解決を見るに至る且つ拘はらず徒に規則に束縛され窮屈をして
を要する者にして同じく日本國民とし生れ乍ら內地の地理歷史を識ら
[illegible]故に教師も[illegible]教材を以て教授し夥からざる苦心をなしつゝあり滿洲の兒童教育は情糀
[illegible]手は長[illegible]は兵式體操を教授し而も男子の用ゐる銃器は內地の如き木銃にあらずして本銃の形をなしたるものを用ゐ
立つと稱し平常些細の事に對しても軍隊用語を用ゐ居れりと云ふ(門司)



□釜山神仙臺檢疫所

神仙台 檢疫所訪問記（上）

我輩が此儘感染して死ねば 差し詰め此棧橋は三途の川の橋だ

時節柄朝鮮で有難くない本場のやうであつたのが仁川にも妙な病が出たので釜山港はホツと一息したやうな形であるがコレでまだ〳〵一寸の油斷も隙も有つたものぢあないと云ふのは十七日に至つてまた〳〵仮に內地のコレラ流行指定地が增加したのでそれで無くてさへ口の廻るやうな神仙臺の檢疫所が

■愈々キリ〳〵舞ひの大活動を始めた

十八日、吾輩は檢疫所を訪問すべく防疫巡邏船に乘込んで神仙臺檢疫所に向つた。水天一碧、明として秋深く船は靜かなる港內の漣波を切つて一直線に東北方へ約一里ばかり走つて港の口近くまで出ると日本海の荒浪は漸く強く舷を打つて瀰つ瀰のやうに速く港の中へ流れ込む右絶影島の出鼻に相對して左方赤崎半島の青々たる松林の間に見ゆる別莊とも見ゆる數個の建物が港口に向つて居るこれが神仙臺の檢疫所である成程開港檢疫所だと云はれて見ると其の附近の松山や奇麗の海や繪のやうな海岸の眺めや別莊らしい建物だと云ふやうな感じは忽ち消ゑ失せて、どうやらその建物が

■嚴しく頼母しい關守のやうにも他豪

のやうにも見ゆるし、また穢ない恐ろしい病毒の船掃場のやうにも感じられた、そうこうする內に船は檢疫所前の海岸から海の中へ突出だ二つの棧橋の處へ著いた一つは檢疫を要する旅客の上陸して檢疫所に這入る未消毒棧橋一つは檢疫所から出て上陸を許可された旅客の乘船して港內へ這入る既消毒棧橋である普通事務員や外來者、停留人に面會する人達は此棧橋から檢疫事務所に這入るのであるがわざ〳〵檢疫所見物に參つた吾輩は流行地から來た旅客の氣に成つて先づ船を未消毒棧橋に著けたこれで吾輩がほんとうに大阪から虎列拉を引背負つて來て此の檢疫所に這入るそれから三日間此の停留所に

■這入つて居る間に發病して死んだと

するとすぐ左の方に並んで居る棧橋から出て行く事は能きぬこの棧橋は三途川の橋と同じ事だなどと思ひながら這入つて行くと其の突當りが未消毒者の待合室であるガランとした硝子戶張りの待合室の冷たいタヽキの上には五十人ばかり這入れる腰掛けが並べてある向の室は婦人の待合室に成つて居る吾輩は靴を膝の上へ載せて外の人達と一緒にボンヤリと待合室に待つて居ると、消毒室、浴室が開いて先から順々に待合室を出て行く、吾輩も待合室を出て次の室へ這入ると其處で二十番と云ふ木の札を一つ渡されて靴も帽子も靴も服も皆な持つて行かれて終つた『この靴の中には何か貴重品は有りませんか』と防疫員が聞く

『イヽヤ貴重品はない』

『お金入』

■其他の貴重品は別にお預り致します

と云ふから吾輩は財布と二三品貴重品として別に預けて其次の浴室へ這入つた、手拭も石鹸もちやんと其處に備へて有る、浴槽は可成に大きなのが三つある婦人湯の方も同じ設備であるらしい、頭から足まですつかり洗ひ清めた我輩は浴室を出て其處で消毒衣を借りて次の待合室に這入つて居ると其處へ一同の衣服帽子一切が熱氣消毒をされて廻つて來るグシャ〳〵と脫ぎ捨てにした衣類がキチンと疊んでまで來て居るのは恐入つた二十番の大札を渡して衣類を受取つて借りた消毒衣と著換へそれから特に預けた貴重品を受取つて次の診察室へ這入つて行くと此の室には

■醫師と看護婦が二三名宛居つて一々

嫌疑に診察して居る此の診察所を出て廊下を傳つてそれ〳〵收容所に這入るのであるが浴室から診察所まで別れ〳〵に成つて來た夫婦者や男女の同伴者は玆で待合せて一緒に成りそれからそれ〳〵停留所へ這入つて行くのであるが此の際疑はしい病氣の者は勿論直ぐに構內の隔離病舍へ收容されるのである

仁川の虎疫發生地は 櫃峴停車場を包圍してゐる 京城市民は怪しい患者が出たら直ちに警察に屆出でよ

仁川に眞性虎列拉が出で續いて疑似患者が一日に六七人も發生するのは實に危險千萬な話である、殊に今續々患者を出しつゝある花平里、龍里、松峴里の三部落は何れも杻峴驛の附近にあつて

▲停車場を包圍してゐるので

最も危險を感ずるのはその附近の鐵だ、勿論防疫班の活動は徹底的の傳播などは無い筈であるけれども、どうしてその附近の細菌を持つた蠅が列車にでも附著して來るかも知れぬ、餘りに神經過敏になり過ぎるのも考へ物だが去りとて市民は安閑と對岸の火災視する事は出來ない

▲此際吾々一般が心得ておかねばならぬ事項についてそれ〳〵警務部から詳細指示したが先づ虎列拉の容體は初め下痢が起つて益々強くなり特に米磨汁のやうな乳色の水がやたらに下痢り又嘔吐が始まつて急に體が弱り胸苦しく口が渇いて聲は枯れ皮膚が蒼白くなつて、皺襞が寄りつまんで見ると皺襞が何時迄も殘つて居る手足は冷くなるが自分では却て灼かれる樣に熱い指端

▲口唇は暗紫色となり眼は凹み頰は落ち脚は引釣りやがて尿は止つて脈は細く遂に何事も辨せぬ狀態となつて死ぬのであるこの虎列拉の病毒の源は患者の大便又は吐瀉物でこれが種々の物に附著して食物や水に混つて人の口へ入るのだ例へば大便や吐瀉物で汚れた衣類夜具を消毒もせずに洗濯してその水を捨るとそれが地に浸みて井戶の水にも混り人の口に入ると云つた風に虎列拉の病毒は必ず口から入るのだから飲料水

▲使用水の注意が第一である食事には煮焼した物をさへ用ひてあれば假令へ黴菌が在つても必ず死ぬから大丈夫だから魚類貝類、野菜、果實の生のものは此際絕對に惡いそれに次で氷水やラムネも飲まぬがよい次に各自の手と食器の注意が無ければ何にもならぬ手は食事前必ず石鹸で洗ひ食器は熱湯か煮沸水で洗ふのが安全だ成る可く間食を避けて食ひ飮みを過度にしてはよくない

▲腸を傷めること病氣に罹り易くなるからである病毒の媒介の因となるのは蠅などが甚だしいからこれは絕對に食物に觸れさせてはいかぬ虎列拉の流行する時には芝居寄席活動寫眞祭禮等の人の集る處には輕い病人や病毒を持つ人が居て自然飮食を共にするやうになるから足を踏入れぬがよく殊に多人數の用ふる便所などが危險だ祝ひ事や會葬に

▲食物の饗應をすることは一切見合すやうにするがよいそれから患者が發生したら醫師と急報すると共に怪しい點を認めた場合には直に警察に屆出る事を忘れては可かぬ

仁川 虎疫頻發 直ちに死亡す

十九日午後三時過ぎ仁川龍岡町二十七番地薪炭商金某の長男金仁順(三〇)なる者激烈なる嘔吐と下痢を催し直ちに死亡したる旨屆け出であリたれば防疫員出張し家屋は勿論器具等に至る迄嚴重の消毒を施し汚物の一部を檢疫所に送ると共に他方も消毒し一家全家を隔離したり(仁川)

檢事正の甥 二千圓の橫領

大阪府下東成郡淸水村大字寺斯莫大小商氏野芳藏(六二)は相聽の資産家にて先頃憲兵伍長の兇刃に斃れたる朝鮮京畿道海州地方法院檢事正氏野德太郎氏の甥に當り前大阪府代議士秋岡義一氏とは從兄弟の間柄なるが去明治四十五年初め頃より莫大小製造業を營み居る內西區京町堀上通三丁目佐々木吉太郎同新町通二丁目吉村傳三郎外數名より買入れたる原料絲四百圓の代金二千餘圓を支拂はざりしより橫領罪に問はれ昨今大阪區裁判所にて懲役一年に處されたり然るに芳藏はこれに不服を申し立て十六日午後地方裁判所刑事部長係り出本檢事立會にて公判あり芳藏は『橫領する意志は無かりしも商業に失敗したる結果返濟する事が出來無つたのです』と申立て大河內辯護人は被告の身分より觀て不正の企みをなせしものならねば隱然たりと述て執行猶豫の恩典を求めたるが芳藏は流石に檢事正の甥と呼ばれては穴にも入りたき風情にて俯首し居たり(大阪)

盜んだ判で 貸金請求訴訟

京畿道揚平郡砥堤面水谷里閔榮國(三八)同里崔鍾及(三三)驪州郡大神面桂林里俞又學(二九)同里俞基衡(四三)砥堤面水里金賢奎(五二)葛山面鳳城里閔先鎬(五一)外三名は共謀し昨年七月中利川郡柏沙面松末里の業農金玉培(二五)を詐き詐欺賭博を以て多額の金員を捲揚同人の印章を盜用して借主金玉培貸主閔榮國なる二千圓及四百二十五圓の二通の借用證書を僞造し之を楯に取りて京城地方法院に貸金請求の訴訟を提起し他の共犯者は何れも證人訊問に際し僞證をなしたること發覺し此程何れも驪州憲兵分隊に檢擧されたり

仁川で釣魚が禁止された

京仁線朱安鹽田貯水池內に於ては是迄釣魚を默許しあり最近緊釣の季節となりたるにより京仁間釣魚家日々多數集合せるも最近仁川に虎列拉病發生し蔓延の兆あるを以て專賣課出張所に於ては食料品製造所なるにより萬一を慮り之れが豫防の爲め自今絕對に鹽田內の釣魚を嚴禁し何無用の者は立入ることを禁止したるより釣魚者及び遊覧者等の無駄足を費さゞる事に注意を要すとなり

食器は熱湯消毒 急行列車食堂の注意

京釜、京義兩線の急行列車附屬の食堂は南大門驛喫茶店より食堂員乘込み居れるが乘務員の健康狀態に注意するは勿論料理の材料となるべき魚類の如き絲由、草梁、仁川より來れる物は總べて用ひず、その他のものと雖も黴菌の附著し易きものは材料として使用を避け食器の如き一々熱湯消毒を行ふなど細密の注意を拂ひ居れり

市民の注意 仁川で保官の論達

虎列拉患者が發生した時には保官の行動を助くると共に其地に居る市民は次の樣な注意をし實行する必要があると云ふ事である

一、コレラ患者發生の場所には一定の區域を限り交通を遮斷す可し
二、該區域內の住民は當日一同の**健康診斷**を受くる事
三、該區域內の住民は他所に交通は勿論飲食物其他の品物を他所に運搬する事なき事
四、該區域內の井水は使用する事なく已むを得ざれば消毒して使用する事共用上水あれば之れを使用する事
五、未熟の**果物**腐敗の傾向ある**魚類**獸肉等を販賣せぬ事
六、他人數使用の厠所には責任者より一定の容器に適用飲料水を供給する事
七、遮斷區域內の住民にて**生活困難**の者は公費にて收容する事
八、遮斷區域內にて飲食物は**必ず煮沸したるもの**の外口にする事出來ないこと
九、蠅は病毒傳播を媒介するものなれば驅除に努力し飲食物は必ず覆蓋をなす可きこと
十、大小便及び吐物は必ず糞壷にあらざれば放棄する事出來ないこと
十一、患者の入つた**便所には消毒**をなした後でないと決して入る事出來ないこと
十二、少しでも吐瀉したものは一時も早く醫者の來診を求め隱しては惡い
十三、多量の水を使用する人は其水を公共下水に導くことで道路に流出してはよくない
十四、交通遮斷區域內に於ける各戶は菌携帶者の有無を調査する事
十五、該區域內にて發病患者發見後遮斷を解く場合に全區域內の消毒法を施行する事
十六、覆蓋なき容器に入れたる飲食物は販賣を禁ずる事
十七、防疫上危險と認むる**不潔飲食物の營業**を禁止する事

十八、個人的豫防法として各自豫防注射する事など協力してなす可き豫防法の條項であると(仁川)

藝妓に衛生講話 釜山警察

釜山警察署にては數日に亙り宿屋、料理屋、飮食店其他の各營業者に對し虎疫豫防に就き訓示したるが十四日は恰も綠町遊廓藝娼妓の檢查日なりしを以つて此の機を利用し同日午後三時より署長自ら健康診斷所に出張し樓主をも召集して虎疫豫防に關し衛生上種々の訓示をなしたり

各營業者へ訓示 京城本町

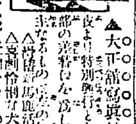
本町警察署にては二十日より數日に亙り管內居住の料理屋、旅舘、飮食店、貸座敷、菓子商、青物商、魚類商等の各營業者を召集し一般防疫衛生訓示をなすべしと

鍾路署と各洞民 京城鍾路

鍾路警察署にては十九日午前[illegible]非番巡査を[illegible]各洞の[illegible]召集をなし署長より防疫方針に[illegible]する所あり引續き午前中管內居住の料理屋、旅舘、飮食店、[illegible]の各營業者及び[illegible]各洞[illegible]を召集し虎疫防遏に關する訓話を[illegible]十九日は午後一時より[illegible]管內各洞民三千六百餘名を召集して[illegible]衛生講話をなし[illegible]便所、塵芥箱等の[illegible]清潔法の實施中なるより[illegible]せしむべしと

熊本縣祝祭團歡迎期日變更

昨夕入城の熊本縣教育視察團歡迎會は二十日午後六時京城ホテルに於て開催の由記載せるも右一行は虎疫流行の爲め釜山に於て停留されたる爲め二十二日午後九時南大門驛着の豫定なるを以て從つて歡迎會は一日延期し二十一日午後六時前記會場に於て開催のことゝなりたりと



▲大○正○舘○寫○眞○替 十九日夜より特別興行として寫眞の番組は左の如し
イ週報第一九九號△喜劇[illegible]△寂劇[illegible]△探偵活劇死の假面全四卷六千呎△舊劇大久保彦左衛門一代記全六卷二百五十場

▲歐洲戰爭寫眞 英金舘にては

來る二十一日より一週間佛國政府の撮影に係る歐洲戰爭戰線內の活動寫眞を映寫する事となれるが該寫眞は聯合軍戰線內に於ける佛軍の活躍振りを政府自ら撮影せるものにしてその內容は第一卷アルサスに於ける大統領ポアンカレー氏第二野戰の狀況第三佛國第五軍團の活動第四潜航艇の戰鬪の五卷にして海陸戰の壯烈なる野戰、痛快なる潜水艇の活動の如きは目の當りその凄慘なる戰況を見るの感あり亦突擊戰に於て愛國の熱血迸れる佛軍の士卒が勇敢にして機敏なる奮戰の狀態は觀覧者の血を沸かしむべく然して該寫眞は本年二月東京に於いて佛國大使館、華族會舘等にて撮影せる外四月伏見宮家に於いて台覽を五月高輪御殿に於いて台覽を賜ひたるものにて聯盟國たる吾等の是非觀覧すべき一大寫眞なり

▲浪○花○節○ 女義竹本林之助一行の二十日夜の語り物は左の如し

△朝顏日記二段目濱松小家の段(廣久)△日吉丸三段目小牧山城中の段(林廣)△加賀山六段目又助住家の段(住子)△お夏清十郎[illegible]の段(林外)△忠臣藏六段目勘平腹切の段(廣治)△[illegible]本城の段(久子)△[illegible]宿屋の段(林之助、東馬亀)△大切[illegible]長右衛門帶屋の段

京日案内

普通 一回前金[illegible]二十錢 番外六十錢[illegible]
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

●店員入用 二十歳前後市內に確實なる保證人有るもの履歴書携帶本人來談あれ 南大門驛前友田運送店 249
●松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す ▲光州加藤自働車運輸部
●古本熱心高價買入△御報參上△本町四丁目 是非御試を乞ふ 電話二七八一番 書肆群書堂 211
●習字御手本類は何でも有ります(目錄送呈) 東京市南神保町九 精華堂法帖店 265
●金融 月收の御方へ信用極秘 立替御報伺上候 京城大和町三不老湯前横丁下る 起木堂 257
●ひぜん せんき 其他いろ〳〵の家傳藥 旭町一丁目 258
●編輯員及外務員募集 履歴書携帶來談あれ 大日本新聞朝鮮支局 京城旭町二丁目二九 251
●貸金 官公吏學校職員等御一報あれ の方へ秘密信用融通 北闡町八七電車通質商 大和屋 256
●産婆看護婦及見習生數名採用す 希望者は直接來談あれ 旭町一丁目 中央婦人病院 255
●店員入用 年齢十八歳以上 御得意廻り 本人來談保證人を要す 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 254

番外
店員 古着商若くは吳服商に經驗ある廿歳前後の人を求む 京城府本町三丁目六番地 正札屋古着店 250
店員入用 年齢十五六歳より廿二歳迄 但し市內に確實なる保證人を要す 京城本町二丁目 ますや吳服店 259
勸業債劵高價買入 並に日賦拂朗販賣 京城太平通二丁目(電話一八三一) 商業銀行債券部 253
立替資金 恩給年金受領の方へ 並に公債債券賣買 仁川山手町六番地 仁川兼倫社內 會田 264
外勤員 保延清貞 右者既に解雇當部に何等關係なし 京城南大門通り二丁目一三六番 大阪朝日新聞販賣部 朝鮮新聞販賣部 263
▲外務員急採用 希望者は自筆履歴書郵送あれ 明治生命保險株式會社京城代理店 京城本町二 山口吳服店 262
▲各種鑛物分拆 京城太平通二ノ二三〇 朝陽分拆所 260
▲電話讓受たし 京城太平通二ノ二三〇 朝陽分拆所 261
藥學講習生募集 夜間教授 九月三十日迄に申込まるべし規則書は市內各藥店に配附せり 黃金町三丁目梅崎政雄方 藥學講習所事務所 209
恩給年金低利融通 長期即時立替 ▲對人極秘確實 ▲京城永樂町壹 江州屋本店 221
外勤社員採用 但內地人 共保生命保險 京城黃金町二丁目 商品陳列館表門前 京城出張所 239
魔法瓶中瓶取替 銅線柳製專賣鞄 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 206

京城春川間 每日午前八時出發 自働車貨金片道四圓 南大門通一丁目 廣橋自働車組 電話二一九番 主務 金正淵 195
病人用 輸送車 新式 用命を乞ふ 京城總督府醫院前 電話一五八〇番 69
總督府醫院御用 山口組 142
恩給 年金立替 利月一歩 並諸公債株券取引 櫻井町大正舘向 博多屋本店
質 大勉強 確實誠意 永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る 秦 170
小兒科 內科 大和町一丁目(日の出橋下る) 爲春堂醫院 (電話九一八番) 院主 古城俐吉 184
[illegible] 増田本店
京城名物 新栗ヨウカン 本日ヨリ發賣 栗ヨウカン 栗ヨウカン 栗ヨウカン 京城本町二丁目 龜屋商店 電話二十七番 四七五番
ミナサン濁酒と云へば㊂を想起せられるでしよう 近頃評判の清酒高麗菊も矢張り㊂です 釀造元龍山驛前電話三〇三九三酒場

新刊圖書御案內
書名 著者 定價
受難者 江馬修 一、三〇
死の舞踏 山本有三 一、三〇
演說と式辭 三瀦正純 五〇
宗教と人生 帆足理一郎 一、三〇
學生全集日記及消息第六卷 一、五〇
鮮文普通文官應試提要 山之井 七〇
刑事訴訟法論 林頼三郎 二、二〇
日本行政法第四卷 美濃部達吉 二、二〇
改訂新刑法 三宅[illegible] 一、六〇
議會政黨及政府 上杉慎吉 二、五〇
刑法と社會思潮 牧野英一 一、〇〇
刑法判決實例 鎌松堂 一、八〇
刑事政策論綱 菊池靜平 一、〇〇
公證人法論 長谷川平次郎 一、五〇
刑事訴訟法 牧野英一 一、五〇
コーラー博士特許法原論 小西眞雄 二、〇〇
手形法論 須賀喜三郎 六〇
商法總論 志田鉀太郎 六〇
會計學綱要 太田哲三 六〇
親族法要論 牧野菊之助 六〇
京城本町二丁目電話一一六六番振替京城二四五四番 慶松堂書店 京城店 仁川店

▲產婦人科
本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 診察午後
分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前
中央婦人病院 院主 衣笠[illegible]

女鳩

渡邊默禪

「二〇」神の力

源作は熊と闘つて是を斃した。

いや。源作が斃したのではない。

斯ういふのは當らぬ。彼は一旦熊を突きのめして、危かつた鳩子を救つたのであるが、熊は見る〱騎した生木を咬裂いて、怒濤の逆立つやうに蹶然として彼の手許に飛蒐つて來た。その獰猛な勢ひに辟易して流石の獵夫も思はず後に逡巡した。恁うなつては木なぞは何の役にも立たぬ帯びた山刀を拔いて斬りつけるか引組むより外に手はないのである。大膽なる彼は手拳を揮つて攫り付すべく身構へした。熊は爛々たる眼を光らして睥睨しつゝ唸つた。歩一歩、一呼一吸、人と獸との肉戰が刹那の下に演ぜられんとした。人獸を殺すか、獸人を殺すかの凄絶な活きたフヰルムが、まさに眼前に展開しかゝつた突端に、後の方でズドンといふ銃聲が聞ねた。颯と飛んで來た彈丸は、ちやうど源作の左の方、枯芽の雪に伏した上に起揚つて、急いで落した銃を拾はうとした鳩子の肩先を掠め、斜めに彈道をつくつて、今源作に飛蒐らうとして前趾を欹てた熊の顳顬の邊へぶすツと中つた。急處を穿たれた熊は逆立ちになつて跳り狂ひながら、雪に頭を埋めてばたりと倒れた。其處へ突入つた源作は矢庭に山刀を揮つて十々滅をさした。

その彈は誰が打出したのか分らなかつた。上を下への混雜中だつたので、そんなことを穿鑿する暇もなく一度にワツと喝采して源作の手柄を讃美するだけであつた。けれども實際は源作の手柄ではなかつたのである。

かくして冥々のうちに行はれた神の攝理――としか言ひ樣がない――が不思議な經緯の糸を三人の間に織りなした。父の源作は鳩子を救はうとした。が、救ひ切らぬうちに熊の毒牙に罹らうとした。子の源太は鳩子を殺さうとした。その彈は鳩子に中らずして熊を斃つた。そして偶然に父を救つた。

鳩子は只獵衣の袂を裂き破られたばかりで微傷だも負はなかつた。雌雄二頭の熊は首尾よく討取つた。何といふ勝利であらう、大きな獲物であらう。一隊二十餘人、只もう讙いもなく歡び崩れて子供のやうに浮れ立つ。

取敢ず熊の屍骸を收容して丸太に結びつけ、一頭に四人がゝりで舁荷ふことにした。と、大野の姿が見ゑない。一同不審して所在を探さうとしてゐる所へ、ひよつくりと落葉松の木立の中から現れて來た。見ると手と頬とに擦過傷があつた。

『おゝ、如何したんぢや。先刻から見ゑんやうぢやつたが』

近寄るのを待つて子爵が訊いた。と、大野は頭を掻く眞似して

『いや、どうも恐縮です。熊が飛出した騷ぎに喫驚して、あの林の中へ逃込んだきり、今まで小さくなつて踞んで居ました。臆病者の報いは覿面、この通り松の枝で擦傷をこしらへました。ハツハツハ』

と答へたので、一同は吶と失笑した。子爵は苦い顏をした。

彼は廢も源太を如何したのであらう。秘密は只彼一人の胸にあつた。

一方の生駒は小屋に著いてから其々運搬して來た食料を積込ましめ、有合せた幾つかの大鍋に夕餐の飯を炊かせたり、汁を煮させたりして、狩獵隊の歸るのを待つてゐた。が、心はそれを待つのではなくして、源太一人の吉報を今か〱と待つのであつた。

頓て夕暮近い頃、どや〱と引揚げて來た。眞先に立つた子爵は喜色滿面、片手にルイスを率きながら大股に歩み寄る。

『やア、生駒君か!』

元氣な聲だ。小舎の前まで迎ひに出てゐた生駒は、それを見ると又た喪然して了つた。鳩子は無事だ。無事で後に隨いてゐる。併も嫣然して。

□大田湖南吟社小集 九月十二日於風骨庵觀月會

(課題)月、月見草、初潮

月見草に水をかけたる野風呂哉 中京
初潮や珊瑚小島の丸木舟 同
鹽濱の土手の崩れや初潮す 同
對岸の草家烟むるや月見草 千里
初潮や鳴門の空の星またゝく 同
名月や空ら解け帶の結しめり 雅溪
初潮や月に漂ふ男島 狸月
鵜の巣のお城の松や月今宵 桐翠
傾きし庚申堂や月見草 同
初潮や濱貝拾ふ京の人 月波
妓を誘はぬ町の徑や月見草 春三女
御造營の石切場や月見草 同
初潮や欄干沈む浮御堂 松年
初潮や川へ上りし海の魚 秋骨
名月や隈なく宵し日入るゝ 待宵
遠乘の夕闇白し月見草 淡水
初潮や月も搖かぬ油凪 西水
濱寶ゐのこほれ鱗や月見草 風骨
初潮や巖門の貝石吐けり 同
月の宿俳星二七句に活けり 同

新刊紹介

▲戰線に立ちて『一名獨逸の肉彈』(獨逸陸軍大尉ヘツケル著芳澤登一譯)昨年約二箇月に亘りて時事新報紙上に連載し湧くが如き好評を博したるが今回更に訂正して刊行せり原著者は世界的文學者たると同時に獨逸陸軍大尉として佛白方面の戰線に立ちたる者悽愴たる戰鬪の狀を忌憚なく記述せると共に運輸、交通、行軍、駐軍、作戰、給養、衛生等の戰鬪準備行動に至る迄詳細に敍述し戰爭の實相を明かにせる獨特自在觀察微妙を盡し他に類を見ざるのみならず文戰爭文學として他に類を見ざるの好著たり(一圓東京市日本橋區本石町三至誠堂)

▲果樹栽培指針『朝鮮總督府勸業模範場編纂』總論、果樹園の組織、各論、果實の貯藏及其の注意、病虫害防除法及び藥品並に噴布劑製法の五章より成り且幾多の挿繪圖解を挿入して斯の種の著書少なからず然も朝鮮に於ける實際の結果に依つて成れるもの少なし敢て在鮮園藝家に一本を薦む(二十五錢京城本町二大阪屋)

▲活動寫眞雜誌(十月號)百萬弗の秘密、白旗八郎、忍術三勇士、俠盜者、秋魂、猿太郎源、こ…

▲長篇講談荒木又右衛門・湯川伴五郎 前者は過般一の講演にて三十六番三百十六頁後者は宮井琴窓の講演にて十四番百八十二頁武勇絶倫にして俠氣あり義氣ある手腕驚化の物語は何れも讀者をして秋の長夜の長くるを覺えざらしむ(三十錢東京市日本橋區博文館)

▲青年修養模範演說と式辭(三保正德編著)部門を分ちて政治經濟、軍事、教育宗教警察衛生、商業、農業、公共團體、祝辭の八とし朝野の名士數十名の模範的式辭文例を舉めたるもの啻に作句麗章たるのみならず各方面に於ける智識の吸收と精神の修養とに資する所の少なからざるべし(五十錢東京市淺草區瓦町二六國華堂)

▲コレラの流行に就ては當局に於て夫々防疫準備を爲し居る如きも流行に先立ち一般市民の衛生思想を喚起する一方法として衛生講話會又はコレラの幻燈講話等を行はゞ甚大の効果あるかと(衛生家)▲先達の貴紙上に電車賃の高いと云ふことが出て居ましたが果して十九日の朝刊紙上には龍山有志から反對運動が起らうとして居ます殊に私共學生の乘車券と定期券を廢して區制にしたことは餘りに咎な仕方と存じます御蔭で電車賃を倍費ふことになつて來ました(龍山の女學生)▲南山公園や漢陽公園などの不潔なことは實に驚くいくら京城府に公園費が少ないからと云つて何んとか方法はなきものにや敢て當局の猛者を促す(登山狂)▲京城府で自轉車の脫稅者檢舉をやつて居るのは近來の痛快事なれども脫稅者を府廳に同行するに警官が罪人を扱ふやうな言行を爲すは甚だ不都合なり(一人民生)▲近來何れの御家庭でも下女の備入に就ては大變お困りになつて居らつしやる樣ですが男子の方を青年會邊の職業紹介部で周旋され居ると同樣に婦人のためにも何等か信用のある下女紹介所とでも申す可きものを設けて頂けますまいか私共に取つては大變助かります許りでなく有力な社會事業の一だと存じます(倭城臺の主婦)▲本町通りに自働車の通行を禁じたのは結構なるも只さへ狹いあの道路を二人前も三人前も巾を取て擔軍が通行することは非常に困る(通行人)▲學校に出て居ます子供のだめに一月に二回か三回位簡單な健康診斷をして頂けますと大變家庭の方でも安心が出來ますが如何なものでしようか(母の心)▲京城商業會議所で募集した家庭工業懸賞案の當選發表は何時なんだらう餘りに長引くではないか(待兼る生)▲目下同案は青木商工課長の手元で審査中です遲くも本月末迄には決定發表を見ましよう(係り)▲電車の中にも防疫員を乘せて下さい汚くて困ります(潔癖家)

商況

大阪三品 十二月限 一五三、三〇 一月限 一五三、五〇

大阪期米(十八日) 一五五、五〇 一五三、七〇

仁川米豆取引所

高値	人	一三、二〇	一三、五六
安値	…	一三、一二	一三、三六
止め	…	一三、二〇	一三、五五

▲纏て保合 …りに五錢と上伸せしが戻りは又賣物多く四十錢丁度と押し二錢と返して保合たるし大阪止め十三圓九十七錢と安移りに再び四十錢と押し一錢と返して依然保合の裡に諭合

▲後場の手振 …る能はず要するに一般新師機待ちとも言ふべき重なる商内賣方⊖今各三千餘石④二千餘石買…

▲豈能く買ふ …ろも市場の注目を惹いたり上りたりとの事一兩小千石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり後場同店より買たる玉數三千餘石に…

▲徇小相場乎 四圓〇四錢と三十三錢切の急反騰を組じたるは從來の軟弱なりし成行より見て聊か考慮を要する者あらん …左しも底止する處を知らざりし大阪…

十九日(寄付)十一月限 十三圓三十九錢 …二錢一圓二錢三圓五錢三圓二錢四十四錢一圓二圓四十二錢四十二錢四十一錢

平均	値段
一節	十二圓四十二錢
二節	十二圓四十二錢
三節	十二圓四十二錢
四節	十二圓四十二錢

九月限 一萬石

●精神霊動の眞理

●玄妙不測の實驗と諸種の應用を試みと欲する研究の餘暇ある人はハガキにて本會に申込め自宅にて短時間に修得する方法を記載せる實驗錄を呈す

大阪高麗橋五丁目 東京芝公園廿一號 精神科學會

最新最良の模範的家庭常備藥

▲恐るべきコレラ赤痢の流行季家庭藥の御用意は刻下の急務たり

▲吾が家庭藥は、獨乙ベルリン醫科大學教授クラウス博士及び吾が國帝國大學教授醫學博士佐藤三吉先生を始め、東西醫藥學大家三十六七の學說を根據とし、東京、京都、九州の三醫科大學及び各府縣立病院の處方製劑錄は勿論、現時世界に存在せる有らゆる家庭藥の處方を集め愼重綿密に參考し、熱誠なる學理的研究と、嚴密なる臨牀的實驗とを續け、貴重の犧牲を拂ひ、幾多の研鑽を經て、完成したるもので從來の無效無益に囚れた藥とは全く其根底に於て類を異にし、普通民間に於て一般素人の、法律上絕對に購入する事の出來ない十數種の劇藥を安全なる程度の範圍に於て配劑し、法に鑑み規に照し民間治療藥として最も安全有效に製出せる、最新最良の理想的家庭常備藥である。

▲下痢の烈しい時、便通の無い時、胸の惡い時、腹痛の起つた時、腹中に蟲の寄生した時、寒冒を引いた時、頭痛、眩暈のする時、熱病に罹つた時、頭や手足腰などの痛み出した時、火傷をした時、怪我をした時、眼病に罹つた時、傳染病の流行時などに、完全なる家庭藥の有ると無いとは、實に一家安危の岐るゝ處です。

▲疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠るが爲に、輕症なる氣管枝加答兒の程度に於て治癒し得る感冒をも、肺炎にまで進ませたり、或は又單純なる胃腸加答兒を打ち捨て置いて恐るべきコレラ赤痢に感染して驚き狼狽へる例は往々あります。初期の手當の一と藥匙は末期の治療の百筋にも勝るのです。

されば、作用の確實なる効力の一定不變なる、最も信頼し得る藥が家庭藥を常に備へ置かれ、急に應じ得る樣御用意の程を切に御勸め申します

藥價は如何なる家庭にも缺くべからざる、内用藥五種、外用藥三種都合八種一組壹圓七拾錢の正價を以て諸彥の御要に應じます尚詳細は本月六日の京城日報夕刊を御一覧下さい。

近來東京、京城其他各地に贋ドラッグあり贋藥を販賣せらるゝ樣御注意を乞ふ

京城南大門外停車場通 ドラッグ商會家庭藥部 電話二五六七番・振替京城四六七番

●月やく

月やくとまりて又は不順にて人知れず心配し他の藥を用ひて効なくお困りの方は三錢切手封入にて申込あれ當なくして不思議に下る妙藥な人助けに御知らせ致します

大阪市外天王寺四九八 いづみ屋

タ・ン・を去り呼・吸・セ・キ・を治す

呼吸器病に苦む人よ 本劑を一週間服試みよ タンを去りセキを鎭め胸苦しきを和げ夜分安眠の効を奏する高貴藥也

吸器散 吸器丸 本舖 丹平商會

かゝる時偉効あり
●せき出で眠られぬ人、●たんに血の交る人、●聲潤れ出でざる人、●のんど腫れ痛む人、●息苦しく胸痛む人、●タンセキ切れ難き人、
價十錢、十五錢、三十錢 全國到る處に販賣す

ひぜん水 大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎謹製 振替大阪二八一八番 各藥店に販賣す 持約店京城南大門通二丁目新井藥房

白美の元素 今 最も黒焦る時 アンチソラチン

專門博士新發見の白色美容劑を試みるは今 (各地の藥店化粧品店にあり)

日やけを止め、色を白くする効能ばかりか水汗にはげず、白粉の持ちを能くする不思議のクリーム 避暑地で黒焦た方もズンズン白くなります

(小)參拾錢 (中)五拾錢 (大)壹圓

青木醫學博士……發見創製 島田、川添、故小池三藥醫學博士實驗推獎

東京牛込東亞堂藥品部販賣者東京一〇〇九

●惡疫流行の恐あり ●殺菌消毒 アルボースの使用を怠るべからず ●にせものあり扇橋製藥株式會社の文字に御注意を乞ふ

質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

新刊書御案内

書名	著者	定價
熟語新成漢和大辭典	吉川克九郎	二、五〇
教授案を主としたる學年別各科教授法(尋常第一學年)	松井穀 松羽敦	一、八〇
牛	岡本米藏	一、〇〇
大日本史論贊集 完	川井巴水	一、五〇
最新東印度事情	外務省通商局編	一、八〇
日記及消息 第六卷 (獨歩全集)	田山、藤井	一、五〇
副業養鷄法	仁部千作	七五
生死透明禪と武士道	横尾賢宗	一、〇〇
朝鮮農業要覽	朝鮮農業研究會	二、〇〇
朝鮮と金鑛	町田長作	一、〇〇
潛艇奇襲大英國の危機	宮崎一雨	七五
安價滋養食物の研究	井上	五〇
實驗漢方調劑自療	山田崇	六五
鬼の面	谷崎潤一郎	八五
手工と圖案	齋藤五代策	五五
將棋百戰百勝	川井房郷	五〇
手數いらぬ新らしい珠算の秘訣	佐々木政吉	五〇
實用計算法秘傳	同	五〇

京城本町 電六八四・二〇八六 振替京城一五七三 大阪屋號書店

花柳病 外科專門

●梅毒 ●淋病 ●泌尿生殖器病 ●痔 ●脫肛 ●肛門病 ●皮膚病 ●婦人病 ●神經衰弱 ●六〇六注射 包皮其他手術

毎日●診察無料 ●入院隨時

京城南大門通(農工銀行裏) 司生堂醫院

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第二共同丸 九月 日後四時入港 九月 日正午時出

朝鮮總督府命令航路にて荷客運賃低廉取扱仕候 大連にては滿鐵埠頭にて直に船舶に接續候客荷取扱仕候

○鎭南浦、海州、龍岩浦行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山 月 日前八時出帆

仁川代理店 本町二丁目 山下回漕部 (電話一〇八番)

元山代理店 (電話二四七番) 田口回漕部

京城取次店 南大門通(電話一六八・一〇一七) 河村運送店

阿波國共同汽船株式會社

汽船釜山出帆廣告

○立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆

○元山丸 元山、清津、浦鹽行 月 日後十時出帆

○立神丸 月 日後十時出帆

○元山丸 城津、浦鹽行 月 日後十時出帆

○小倉丸 月

○元山 西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆

○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、天津、牛莊行 相模丸 十月 日 正午出帆

高砂丸 九月 日 後六時出帆

三河丸 九月廿八日 正午出帆

仁川海岸通(電話十一番) 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

君が代丸 九月廿三日 後四時出帆

大有丸 九月 日 後四時出帆

神代丸 九月 日 後四時出帆

秀吉丸 九月廿六日 後四時出帆

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店 (電話一七〇番)

○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○成鏡丸 門司より釜山各港經由基隆航路 九月廿一日 九月廿九日 十月三日 九月廿三日 釜山發

○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山より各港經由雄基行 九月二十日 九月廿四日 元山發

○忠淸丸 ○平壤丸 城津清津雄基行 十月二日 九月廿七日 元山發

○永興丸 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發

○蛮德丸 廿浦、九龍里、浦項各港寄港 九月廿二日 釜山發

○江陵丸 毎日 釜山發

○濱陽丸 長生浦方魚津寄港 毎日 浦項發

○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港 九月 日 釜山發

○○海州丸 統營丸 巨濟丸 毎日 ○慶寶丸 毎日 釜山發

○順天丸 各港經由木浦行 三日目毎 木浦發

○慶興丸 各港經由濟州島行西廻 九月 日 木浦發

○慶興丸 南多島海列島行 月三回 九月廿一日 木浦發

○公州丸 九月廿四日 木浦發

○宗信丸 海州他各港經由、龍洞又は白翎島行 九月 日 仁川發

○江原丸 靑島、大連、芝罘行 九月廿五日 仁川發

○晋州丸 ○麗水丸 各港經由木浦行 九月廿一日 九月廿七日 仁川發

○全州丸 ○南陽丸 江華島、喬桐島、海州行 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆

○外航所除は航路を問はず出帆前準備の上乘船の時は五分前を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 九月廿一日 後五時出

×安東丸 十月一日

×大智丸 九月廿四日

○木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 後二時出

×信濃川丸 十月二日

○群山、釜山、横濱行 福州丸 九月廿七日 後二時出

△潮州丸 十月九日

○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 濱州丸 九月廿七日 後二時出

×鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 後二時出

×信濃川丸 十月十五日

○大連直行 福州丸 十月三日 正午出帆

△潮州丸 九月廿三日

△鎭南浦行 天智丸 九月 日 正午出帆

○清津、浦潮行(元山出帆) 安平丸 十月十六日 後二時出

×城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 印 宮島丸 九月廿二日

△上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 九月廿四日 後四時出 湖北丸 十月十一日 前六時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道との連絡切符發賣致候 ●寄港地其他都合により變更する事あり △印は航路の都合に依り…

切符發賣所 京城 大阪商船會社仁川支店 電話二番 五五番 內國通運會社支店 電話七〇八番

●中國四國沿岸各港行船客に對し京城切符發賣仕候